記載年月
 令和元年8月

 対象年度
 平成30年度

1 事務事業の概要										
事務事業名	ちびっ子文化祭	《運営事業					事務事業コード	30550100		
概要	文化センターで活動し	ている小・中学生が	『年1回市内の	ホールで日頃の	の成果を発表す	ける。				
基本施策 総合	8 青少年の健全育	成		主	管部課名	市民協働技	推進部 地域コミュ	ニティ課		
計画施策	55 青少年の健全育	成		Ā	事業類型	任意事業				
	その他の事務事業	事業開始年度	平成 2年度	~ 見正	直しの裁量	市に事業身	見直しの裁量あり			
根拠法令等										
市関連事業										
7.3	文化センターが主催す									
実施の背景	文化センターのサーク 成を図り、活動する子	ル活動を通して、学 どもたちの目標の一	学校を超えた仲 一つとして平成	間作りや各種の2年度からちて	の文化・スポー びっこ文化祭を	ーツを体験す を開催してい	ることにより児童 る。	青少年の健全育		
事業日標日頃文化センターで活動している小・中学生が年に1回一同に会し、活動の成果を発表する場とふれあいの場を提供する。										
事 業 内 容 市と実行委員会主催で、年に1回 市内のホールで11文化センターで活動している小・中学生が、展示と発表の部門に分かれて発表をする。展示コーナーでは手芸や陶芸等の作品展示、発表コーナーでは演劇やダンス等、遊びコーナーでは実行委員等による簡単な工作指導を行う。										
2 事業計画・詞	• • •									
H29年度実績(D				H29年度評価			羽容 B 現状のまま			
H30.2.24 (土) ~2 会場 府中の森芸				「発表部門」	は前年と同数	の25サー	増加し68サーク/ クルの参加。 、入場者数につい [~]	2 0		
	483人 972人									
	■ 新規・レベルアッ	プ ✓ 継続	□ 見直	il 🗌 A	廃止 H	129年度評価	西に基づく見直し	(Action)		
H30年度の具体的	りな取組 (Plan)			H30年度の7	与向性 (Plan)				
H31.2.23 (土) ~2 会場 府中の森芸				含め、工夫を いく。 文化センター	≧凝らしできる −のサークル活	限り多くの	うサークルは、活動 参加希望者を受講。 、学校を超えた仲間 年の健全育成を図っ	できるよう努めて 間作りや各種スポ		
H30年度実績(D	0)			H30年度評価	面(Check)	評価内	P容 B 現状のまま	継続		
第29回府中ちび H31.2.23(土)~1 会場 府中の森芸 ふるさとホ 参加者	っ子ふれあい文化祭 24 (日)			「展示部門」 「発表部門」 展示の参加国	は参加サーク は前年より1	団体減少しことにより	減少し6 4 サーク/ 2 4 サークルの参加 、全体の参加者数 てしまった。	bo.		
\triangle	- ☑ 新規・レベルアッ	プ □ 継続	□ 見直	il 🗆 B	廃止 H	130年度評価	晒に基づく見直し	(Action)		
H31年度の具体的	りな取組 (Plan)			H31年度のフ	与向性 (Plan)				
R2.2.22 (土) ~23 会場 府中の森芸			第30回目となる節目及び市制65周年記念事業としての開催となるため、会場をどり一むホールに移し規模を拡大して実施する。また、会場の収容人数が増加するため、入れ替えを行わず実施することにより発表の演員時間にも余裕が持てるとともに2,000人の集客スペースが確保できるため、自由に観覧が可能となる。なお、子どもたちが楽しめるアトラクションも企画予定である。							
令和 2年度にお	ける事業の位置付け									
A 重点化・拡大					今年度は節目	の30同開催	となるため、拡大領	実施で行うが次年		
B 現状のまま継		よ見直しは必要ない			度以降は通常	開催に戻す	予定。			
		には法令等の改正な	が必須	A						
		の必要性はあるが 問	時期尚早							
		では見直しが不可能								
C 見直して継続		71111								
D 休止・廃止等		巻との整理・統合								
ν γν.μ・廃止寺	1 休止 2 廃止									

3 完了

指標名	基準値		事業推移				目標値・	指標の分析	
拍标石	(単位)		H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	目標年度	1日1示 (2) / 1 (1)	
		計当初値画	1,500	1,550	1, 575	1,600	1,600	展示部門の参加が1団体追加され たことにより参加者数が微増とな	
参加者数	1, 483	値補正値	_	_	-	_	令和 3年度	った。 発表部門の発表の演目によって、	
	人	実 績	1, 367	ı	ı	ı	-	安全面への配慮などのため入場制 限を実施した。そのため、収容人	
	5 070	計 当初値	6,000	6, 100	6, 200	6, 300	6, 300	数が制限され、入場者が減少となってしまった。	
入場者数	5, 972	値補正値	_	-	-	-	令和 3年度		
	人	実績	5, 455	_	-	_	_		

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1		
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	果を発表する場を提供するため市が実施するべきである。				
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3	
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2	
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3	
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3	
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3	

4 事業費・人件費等の推移

(単位	:	円、	人)
-----	---	----	----

7 7				(年位:11、八)			
		H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業	業費)						
	当 初 予 算 額	1, 803, 000	1, 803, 000	2, 499, 000	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1, 803, 000	1, 803, 000	2, 499, 000	0	0	0
	予算現額	1,803,000	1,803,000	0	0	0	0
	決 算額	1, 802, 456	1, 802, 428	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1, 802, 456	1, 802, 428	0	0	0	0
	執 行 率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人作	牛費)						
	職員数	1.70	1.70				
	職員人件費	13, 058, 761	13, 358, 760				
	嘱託員数	0	0				
	嘱託員人件費	0	0				
(間接	接経費)						
	間接経費	0	0		_		
	総コスト	14, 861, 217	15, 161, 188	0	0	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果

30年度で29回目の開催となった。当初は各センターのサークル数が少なく参加をお願いする状況だったが、年々サークル活動が地域に浸透し多くの児童・生徒の参加を得るようになった。 また、サークルを卒業した後その経験を活かした道に進んだ子も多く、児童青少年の健全育成に寄与している。

今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

参加児童の安全面への配慮や、講師の指導対応をいきわたらせるために、各サークルでは、参加人数の上限が決まっているため、参加者数を増やすことが困難な状況である。サークルを増やすことで、参加者数・入場者数が増加する可能性があるが、予算措置が難しい状況である。 文化センターのサークル活動を通して、学校を超えた仲間作りや各種の文化・スポーツを体験することにより児童青少年の健全育成を図っていく。 活動する子ども達の成果の発表の場としての目標の一つとしてちびっ子文化祭は必要な事業となる。

	会計	款	佰	目	事 業コード	予算事業名		年度	H31年度	
	云司	水人	垬	П	コード		当初予算額	決算額	当初予算額	
1	01	10	35	15	0288000	ちびっ子文化祭運営費	1, 803, 000	1, 802, 428	2, 499, 000	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
						合 計	1, 803, 000	1, 802, 428	2, 499, 000	

 記載年月
 令和元年8月

 対象年度
 平成30年度

1 事務事業の概要										
事務事業名	自主活動奨励事	業				事務事第二一十	30550200			
概 要	児童館において年間を	とおして実施するサ	ーークル活動を	・支援する他、	児童館に指導員	員を配置する。				
基本施策	8 青少年の健全育	戊			主管部課名	市民協働推進部 地域コミニ	ュニティ課			
総合施策	55 青少年の健全育	龙			事業類型	任意事業				
事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	昭和46年度	~ 見	直しの裁量	市に事業を見直す裁量はな	V			
根拠法令等			•	•						
市関連事業										
対象	市内の小・中学生(一	部幼児・成人を含む	2)							
刈										
実施の背景	児童館は、児童福祉法 ための厚生労働省所轄	に基づいて、児童遊 の児童厚生施設の役	遠園と同じく児 と割を担う施設	l童に健全な遊びあるため、	ながを与え、その この事業の実施	の健康を増進したり、情操を 値を図る。	豊かにしたりする			
事業目標 健全育成に重要な体験活動の参加機会を提供するとともに、子どもの健全育成を図る。										
事 業 内 容 各文化センターにおいて、子どもの興味を引くサークルや教室を企画・提供し、一人一人の可能性を伸ばし、集団で活躍したり遊ぶ楽しさを学ぶ。この他、フリーに来館する子どもの健全育成を図るため児童館に週5日指導員を配置する。										
2 事業計画・				1100左秦郭	/TT (OL L.)	一 証価中央 ロ 田坐のよ	小 姚 			
#29年度実績(DO) !・絵画・ダンス等 51サ	一 力ル			価(Check) 考数が前年度上	評価内容 B 現状のまり減少傾向となっている。	よ桃 統			
	に 伝画・タンへ等 519 にセンターにて実施	— <i>y</i>		理由として	主に午前中に利	用されている未就学児対象事	耳業への参加者の減			
児童館指導員 平日2~5時春・ 年間7,500時間	夏・冬休み1~5時			少による。						
\bar{\bar{\bar{\bar{\bar{\bar{\bar{	- □ 新規・レベルアップ	プ ✓ 継続	□ 見頭			29年度評価に基づく見直	L (Action)			
	的な取組 (Plan)				方向性 (Plan					
サークル活動料理 合計615回 各文化 児童館指導員 平日2~5時 春・1 年間7,654時間	!・絵画・ダンス等 49サ :センターにて実施 夏・冬休み1~5時	ークル		が興味を持	てるサークルを	内容の見直しなどを行うとと 実施していく。 る企画・イベントを発信して				
H30年度実績(Do)			H30年度評	価 (Check)	評価内容 B 現状のま	ま継続			
サークル活動料理	!・絵画・ダンス等 47∜ エセンターにて実施	ークル		子どもたち演劇などあ	に目新しいサー らゆる分野に渡	- かも実施し、ダンス・クッ Eり、興味を持てるサークルを こる企画・イベントを発信した	ルキング・英会話・ と実施した。			
₹	▶□ 新規・レベルアップ	プログ 継続	□見画	il 🗆	廃止	30年度評価に基づく見直	し (Action)			
	的な取組 (Plan)				方向性(Plan					
合計614回 各文化 児童館指導員	センターにて実施	6サークル		が興味を持	てるサークルを	内容の見直しなどを行うとと 実施していく。 る企画・イベントを引き続き				
平日2~5時 春· 引 年間7,697時間	夏・冬休み1~5時									
令和 2年度にお	おける事業の位置付け									
A 重点化・拡力	-		T		サークル活動		引づくりや各種の文			
B 現状のまま絹	x続 1 大幅な 2 見直し 3 見直し	:見直しは必要ない には法令等の改正だの必要性はあるが明 に見直しが不可能		В	化を体験する	ことにより、青少年の健全管後も継続して¥				
C 見直して継続	た 1 見直し 2 他事業			-1						
D 休止・廃止等	1 休止 2 廃止 3 完了			1						

指標名	基準値		事業推移					指標の分析	
拍标石	(単位)		H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	目標年度	1日1示 (2) 7月 1月	
	100 000	計当初値画	104, 100	104, 400	104, 700	105, 000	105, 000	サークルの参加人数は、定員もあるため増加が難しい状況であるが	
児童館奨励事業参加者数	103, 800	値補正値	-	-	-	-	令和 3年度	フルチャル明叶ぶちて北、カ	
	人	実 績	96, 267	-	-	-	_	維持し、児童館来館者を増加に転 じるよう努める。	
		計当初値	-	-	-	-	-	参加者が減少した理由は、子供た ちのニーズと実施する企画に温度	
	_	画植 補正値	-	-	-	-	-	差がでたため。	
	-	実 績	-	-	-	-	-		

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1		
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	でき事業である。				
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2	
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2	
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3	
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2	
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3	

4 事業費・人件費等の推移

(単位	:	円、	人)
·—	•		/ /

	子木貞 八川貞寺の	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事	業費)						
	当 初 予 算 額	11, 810, 000	11, 683, 000	11, 856, 000	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	95, 000	74, 000	76, 000	0	0	0
	一般財源	11, 715, 000	11, 609, 000	11, 780, 000	0	0	0
	予 算 現 額	11, 810, 000	11, 683, 000	0	0	0	0
	決 算 額	11, 537, 250	11, 343, 799	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	74, 500	37, 400	0	0	0	0
	一般財源	11, 462, 750	11, 306, 399	0	0	0	0
	執 行 率	97.7%	97. 1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人	件費)						
	職 員 数	2. 15	2. 15				
	職員人件費	16, 515, 492	16, 894, 902				
	嘱 託 員 数	0	0				
	嘱託員人件費	0	0				
(間:	接経費)						
	間 接 経 費	0	0				
	総コスト	28, 052, 742	28, 238, 701	0	0	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果

市内11の文化センターで、小中学生を対象にジャズダンスやヒップホップダンス、演劇、工作、料理等のサークルを実施してきた。各種の活動を体験することにより、子ども達の感性を磨いたり、視野を広げるなど健全な育成に寄与した。

今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

参加者が減少した理由は、子供たちのニーズと実施する企画に温度差があり、人気がありすぎて定員を大幅に超える応募があり抽選になるサークルが増えてきている。平等性を欠くことのないように方法を考えたい。 児童館についても、子どもたちの利用実態に合わせた対応が必要である。 今後も当事業をとおして健全育成に重要な体験活動の参加機会を提供し、青少年の健全育成を図っていく。

	合む				事 業コード	又 笛声 要 力	H30:	年度	H31年度
	会計	款	項	目	コード	予算事業名	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	35	15	0289000	自主活動奨励費	11, 683, 000	11, 343, 799	11, 856, 000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	11, 683, 000	11, 343, 799	11, 856, 000

 記載年月
 令和元年8月

 対象年度
 平成30年度

1 事務事業の概要

サ サガサネの	W.女 										
事務事業名	成人の日記念青年のつどい運営事業			事務事業 コード 30550300							
概 要	成人式の開催										
基本施策	8 青少年の健全育成	主	管部課名	子ども家庭部 児童青少年課							
総合振			事業類型	任意事業							
計画用の			サネタエ 直しの裁量								
		兄	旦しの茲里	市に事業見直しの裁量あり							
根拠法令等	国民の祝日に関する法律										
市関連事業											
対 象	20歳の青年										
実施の背景	国民の祝日に関する法律(1948年)により「1月15日に」と定められ、全国的に自治体において成人式を行う	t、大人になった こととなった。	こことを目覚し	、目ら生き抜こうとする青年を祝い励ます日							
事業目標	大人になったことを自覚し、社会の一員として自ら生	き抜こうとする	新成人を祝い原	かます。							
事業内容	事 業 内 容 成人の日を記念し、20歳の青年を対象に、式典、記念ブース等を盛り込んだ成人の日記念「青年のつどい」を実施する。 実施にあたっては、新成人、青少年対策地区委員会、青少年委員等により組織される実行委員会に委託し、事業の企画・運営を行う。										
2 事業計画・											
H29年度実績(H29年度評価		評価内容 B 現状のまま継続							
)年1月8日 人(男1, 468人、女1, 321人)	∇FC東京が2 ビデオメッキ ビデオメッキ マーク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0周年を迎える	ことに因み、FC東京の選手から新成人に向けた るなど、特色ある成人式を企画・実施すること							
▽出席者 1,854	人(另1,406人、好1,321人) 人(男1,051人、女 803人)	ができた。									
				策地区委員会や青少年委員会、青年会議所の協 さし、地域の意見をより広く取り入れることがで							
──	■ 新規・レベルアップ☑ 継続□ 見	直し	· 秦止 H	129年度評価に基づく見直し (Action)							
H30年度の具体	ー 的な取組(Plan)	H30年度の7	方向性 (Plan)							
▽広報等による実 ▽実行委員会の開 ▽式典や実行委員	催 企画の検討 等による成人式の周知	、実施する。		からなる実行委員会を組織し、成人式を企画し た成人式を開催する。							
H30年度実績(Do)	H30年度評価	而 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続							
▽開催日 平成3 ▽対象者 2,778	1年1月14日 人(男1,437人、女1,341人) 人(男1,100人、女 836人)	▽新成人のに	まか、青少年対	対策地区委員会や青少年委員会、青年会議所の協 成し、地域の意見をより広く取り入れることがで							
─		直し	廃止 H	130年度評価に基づく見直し (Action)							
H31年度の具体	的な取組(Plan)	H31年度の7	方向性(Plan)							
▽広報等による集 ▽実行委員会の開 ▽式典や実行委員	催 企画の検討 等による成人式の周知	、実施する。		からなる実行委員会を組織し、成人式を企画し た成人式を開催する。							
令和 2年度にお	おける事業の位置付け										
A 重点化・拡力	てして継続		地域が一体と	なって新成人を祝い励ますとともに、新成人が							
B 現状のまま約	#続 1 大幅な見直しは必要ない 2 見直しには法令等の改正が必須 3 見直しの必要性はあるが時期尚早 4 現状では見直しが不可能	В	主体となって	「実行委員会を組織し、式典を企画・運営するこしての自覚を促すことができることから、現状							
C 見直して継続	1 見直し・縮小	_									
	2 他事業との整理・統合										
D 休止・廃止等	1 休止	1	1								
	2 廃止	-									
	3 完了										

指標名	基準値			事業推移	革業推移			指標の分析	
1日1宗 12	(単位)		H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	目標年度	1日1宗(ノノ) 171	
		計 当初値	64. 8	66. 5	68. 2	70	70	参加率は増加している。引き続き 実行委員会と連携し、新成人にと	
成人の日記念「青年のつど い」の参加率	63. 1	値補正値	-	_	-	_	令和 3年度	実行委員会と連携し、新成人にと って魅力ある式典となるよう工夫 する。	
	%	実 績	69. 7	ı	ı	1	-		
		計 当初値	-	-	-	-	-		
	=	値補正値	ı	1	١	1	-		
	-	実績	ı	-	-	-	_		

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1	
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	市内の新成人を広く対象	象としているため		
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位	:	円、	人)	

7 7							
		H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業	業費)						
	当 初 予 算 額	2, 866, 000	2, 851, 000	2, 806, 000	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	2, 866, 000	2, 851, 000	2, 806, 000	0	0	0
	予算現額	2, 858, 000	2, 851, 000	0	0	0	0
	決 算額	2, 715, 295	2, 774, 891	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	2, 715, 295	2, 774, 891	0	0	0	0
	執 行 率	95.0%	97.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人作	牛費)						
	職員数	0.37	0.40				
	職員人件費	2, 842, 201	3, 143, 238				
	嘱託員数	0	0				
	嘱託員人件費	0	0				
(間接	接経費)						
	間接経費	4, 707	5, 408				
	総コスト	5, 562, 203	5, 923, 537	0	0	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果

- ▽平成 9年度
- 企画・運営を新成人からなる実行委員会に委託し実施 地域の意見を取り入れるため青少年地区対策委員・青少年委員を実行委員に追加 地域の意見を取り入れるためむさし府中青年会議所の会員を委員に追加 新成人の実行委員を公立学校からの推薦枠のほか、公募による実行委員を募集
- ▽平成19年度 ▽平成23年度
- ▽平成25年度

今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

- ▽式当日は、中学・高校生時代の同級生との再会を目的に来場する新成人が多く、会場内でのざわつきや、会場へ入場しない成人への対応を検討す
- る。 ▽同伴する保護者の観覧席について検討する。 ▽新成人のニーズを踏まえた成人式を開催し、参加者の増加を目指す。

	会計	款	店	目	事 業 コード	予算事業名		年度	H31年度	
	五司	水	垬	п	コード		当初予算額	決算額	当初予算額	
1	01	15	10	20	0608000	成人の日記念青年のつどい運営費	2, 851, 000	2, 774, 891	2, 806, 000	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
						合 計	2, 851, 000	2, 774, 891	2, 806, 000	

 記載年月
 令和元年8月

 対象年度
 平成30年度

1 事務事業の概要

D 休止・廃止等

1休止2廃止3完了

事務事業名	青少年団体活動支援事業 事務事業コード 30550400								
概要	子ども会やボーイ・ガールスカウトの活動支援								
基本施策	8 青少年の健全育成	主管部課名	子ども家庭	至部 児童青少年課					
総合施策	55 青少年の健全育成	事業類型	任意事業						
事業種別	その他の事務事業 事業開始年度 ~	見直しの裁り	市に事業見	見直しの裁量あり					
根拠法令等	府中市青少年団体の登録及び支援に関する要項・登録基	準・補助金交付要綱							
市関連事業									
対 象	自主的に計画をたて、子どもを中心として継続的に活動	し、実績がある府中市内	の団体						
実施の背景	青少年と地域の人との交流の機会が減少しており、交流でいる。								
事業目標	青少年の健全な成長を促すため、青少年の多様な体験活を支援する。	動への参加の機会や活動	拠点を提供する	とともに、青少年団体の自主活動					
事業内容	▽地域教育の向上や見守りなど、地域をあげての子育て ▽青少年の健全育成を目的とし、年齢を超えた異年齢集 スカウト、スカウト育成連絡協議会の活動を支援する。	支援の重要性を認識して 団のつながりを軸に野外	もらうため、子 体験活動を展開	ども会活動を支援及び補助する。 しているボーイスカウト、ガール					
2 事業計画・	評価								
H29年度実績(H29年度評価(Check	,	客 C 見直して継続					
登録団体数 ※カ ▽子ども会 ▽ボーイ・ガール ▽スカウト育成連		▽青少年団体に補助す 大会、社会科見学など 出することができた。	ることにより、〕 を実施し、子ど [®]	夏季キャンプや歓送迎会、スポーツ もたちの交流の機会や体験の場を創					
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	■ 新規・レベルアップ	<u> </u> ≣し □ 廃止	H29年度評価	iに基づく見直し(Action)					
H30年度の具体	的な取組(Plan)	H30年度の方向性(P	lan)						
▽青少年団体の登 ▽子ども会が自主 交付	録及び支援 的に行う事業及び指導者保険料の納付に対する補助金の	▽地域教育の向上や見守りなど地域をあげての子育てや、年齢を超えた異							
H30年度実績(Do)	H30年度評価(Check) 評価内	容 C 見直して継続					
	リッコ内は補助金交付団体数	▽青少年団体に支援を行うことで、各団体の活動を活性化させることがで							
▽子ども会 ▽ボーイ・ガール	2 1 団体(1 7 団体)	きた。							
マホーイ・ガールマスカウト育成連		会、社会科見学などを することができた。	実施し、子ども	季キャンプや歓送迎会、スポーツ大 たちの交流の機会や体験の場を創出					
V	■ 新規・レベルアップ■ 継続☑ 見直	直し □ 廃止	H30年度評価	iに基づく見直し (Action)					
H31年度の具体	的な取組(Plan)	H31年度の方向性(P	lan)						
▽青少年団体の登 ▽子ども会が自主 交付	録及び支援 的に行う事業及び指導者保険料の納付に対する補助金の	年齢集団のつながりを支援する。	軸とした野外体駅 ハては、補助金	めげての子育てや、年齢を超えた異 験など青少年団体の活動を引き続き 等審査委員会の審査結果を踏まえ、					
		<u> </u>							
令和 2年度にお	おける事業の位置付け								
A 重点化・拡力				は、補助金等審査委員会の審査結果					
B 現状のまま糾	**	を踏まる	、又仮刀伝につい	ハて見直しを図る。					
	2 見直しには法令等の改正が必須								
	3 見直しの必要性はあるが時期尚早 4 現状では見直しが不可能								
 C 見直して継約									
1 元旦して胚的	2 他事業との整理・統合								

1

指標名	基準値			事業推移			目標値・	指標の分析	
拍标石	(単位)		H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	目標年度		
		計当初値画	1	1	ı	1	1	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、指標の設定は	
	_	値補正値	-	-	-	_	-	行わない。	
	-	実 績	ı	1	ı	1	1		
		計 当初値	-	-	-	-	-		
	_	値補正値	ı	1	١	1	1		
	-	実績	-	-	-	-	-		

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1	
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	青少年と地域の人との	交流の機会を創出する契	機となるため	
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)	
R 4年度	

7 7							(辛匹:11、八)
		H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業	美費)						
	当初予算額	528, 000	270,000	258, 000	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	528, 000	270,000	258, 000	0	0	0
	予算現額	528, 000	270,000	0	0	0	0
	決 算 額	502, 893	238, 835	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	502, 893	238, 835	0	0	0	0
÷	執 行 率	95.2%	88.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人作	牛費)						
	職員数	0. 27	0.30				
	職員人件費	2, 074, 038	2, 357, 428				
	嘱託員数	0	0				
	嘱託員人件費	0	0				
(間接	接経費)						
	間接経費	3, 435	4,056				
	総コスト	2, 580, 366	2, 600, 319	0	0	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果

青少年団体が自主的に行う事業及び指導者保険料の納付に対して補助金を交付することにより、団体活動を支援した。

今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

子どもや子育てをする保護者にとっての地域における交流の場の創出や各団体が催す様々な活動を助長するため、引き続き青少年団体活動の支援をする。

			石		事 業 コード	又 笛声	H30年度		H31年度	
	会計	款	垻	目	コード	予算事業名	当初予算額	決算額	当初予算額	
1	01	15	10	20	0621000	補助金 子ども会活動事業費	270, 000	238, 835	258, 000	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
						슴 計	270, 000	238, 835	258, 000	

 記載年月
 令和元年8月

 対象年度
 平成30年度

H30年度評価に基づく見直し (Action)

					73 23. 1 22						
1	事務事	業の	概要								
事	務事	業 名	青少年委員活動事業	青少年委員活動事業							
概		要	青少年委員の活動事業								
4//	基本	施策	8 青少年の健全育成	主管部課名	子ども家庭部 児童青少年課						
総計	台施	策	55 青少年の健全育成	事業類型	任意事業						
н	事業	種別	その他の事務事業 事業開始年度 ~	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり						
根	拠法:	令 等	青少年委員の設置等に関する規則(委員は市長より委	嘱され、非常勤職員)							
市	関連	事業									
対		象	青少年の余暇指導及び青少年の育成に直接携わり、かつ	、相当な実績のある者(20	人以内)						
実	施の	背 景	東京都が区市町村に対して導入した独自の制度で、委員 し、青少年委員の設置等に関する規則により委員は市長	は青少年の健全育成と非行防 より委嘱される。	止のために行政と地域をつなぐことを目的と						
事	業目	標	青少年教育の振興を図る。								
事	業	容	▽青少年健全育成事業や各種協議会へ委員の派遣を行う。 ▽青少年健全育成の各種イベントの実行委員としてイベ ▽市内在住・在学の小学校4年生から高校生までを対象 習会を企画・実施する。	, ントを企画・実施する。 に、リーダーシップの育成や	仲間とのきずなを深めるジュニアリーダー講						
2	事業計	├画・	評価								
H2	29年度第	€績(Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続						
	▽青少年委員 19人 ▽都内及び近隣市と青少年健全育成に関する情報の共有 ▽青少年問題協議会への委員の派遣 ▽ジュニアリーダー講習会の実施 9回、参加者583人 ▽市主催のイベントへの委員の派遣 ▽放課後子ども教室実行委員会への委員の派遣 ▽放課後子ども教室実行委員会への委員の派遣										

→ □ 新規・レベルアップ □ 継続 □ 見値	IU ∐ 廃止 H29年度評価に基つく見直し(Action)
H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
▽東京都青少年委員会連合会や多摩地区青少年委員会連絡協議会での研修・情報共有 ▽ジュニアリーダー講習会の企画・実施 ▽成人式実行委員会への委員の派遣 ▽ナイトハイク実行委員会への委員の派遣 ▽放課後子ども教室実行委員会への委員の派遣 ▽子ども・子育て審議会への委員の派遣	▽今後も他市との連携を密にし、青少年健全育成に係る研修や情報共有を 行い、府中市の青少年の健全育成に活かす ▽ジュニアリーダー講習会の企画及び円滑な実施
H30年度実績(Do)	H30年度評価 (Check) 評価内容 B 現状のまま継続
▽青少年委員 19人 ▽都内及び近隣市と青少年健全育成に関する情報の共有 ▽青少年問題協議会への委員の派遣 ▽ジュニアリーダー講習会の実施 8回、参加者480人 ▽市主催のイベントへの委員の派遣 ▽放課後子ども教室実行委員会への委員の派遣	▽他市の青少年委員と連携し、青少年健全育成に係る研修や情報共有を行い、青少年の育成活動に活かすことができた。 ▽ジュニアリーダー講習会を企画し、円滑に実施することができた。 ▽ナイトハイクや放課後子ども教室などの実行委員として活動し、青少年の健全育成に寄与した。

□ 廃止

□ 見直し

✓ 継続

新規・レベルアップ

令和 2年度における事業の位置付け										
A 重点化・拡大して継続			ジュニアリーダー講習会など青少年委員の活動は、本市にお ける青少年の健全育成に寄与していることから、現状のまま							
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない		ける青少年の健全育成に寄与していることから、現状のまま 継続する。							
	2 見直しには法令等の改正が必須	R	MITHOLY る。							
	3 見直しの必要性はあるが時期尚早	Ъ								
	4 現状では見直しが不可能									
C 見直して継続	1 見直し・縮小									
	2 他事業との整理・統合									
D 休止・廃止等	1 休止	1								
	2 廃止	-								
	3 完了									

指標名	基準値		事業推移					指標の分析
拍标石	(単位)		H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	目標年度	1日1宗(ノブ 初)
	101	計 当初値	100	100	100	100	100	継続を含め例年100名程度の登録 があり、事業への関心が高い。
ジュニアリーダー講習会登 録者数	101	値補正値	_	_	-	_	令和 3年度	
	人	実 績	102	ı	ı	ı	-	
		計 当初値	-	-	-	-	-	
	=	値補正値	-	1	١	1	-	
	-	実績	_	-	-	_	-	

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1	
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	青少年委員は市が委嘱するため			
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	事未良 [。] 八仟貝寺の1	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度				
(事	(事業費)										
Ì	当初予算額	4, 871, 000	4, 879, 000	4, 952, 000	0	0	0				
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0				
	都 支 出 金	0	461,000	357, 000	0	0	0				
	市債	0	0	0	0	0	0				
	その他	1, 300, 000	1, 077, 000	1, 288, 000	0	0	0				
	一般財源	3, 571, 000	3, 341, 000	3, 307, 000	0	0	0				
	予 算 現 額	4, 871, 000	4, 879, 000	0	0	0	0				
	決 算 額	4, 695, 857	4, 668, 511	0	0	0	0				
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0				
	都 支 出 金	341,000	387, 000	0	0	0	0				
	市債	0	0	0	0	0	0				
	その他	1, 288, 550	1, 168, 650	0	0	0	0				
	一般財源	3, 066, 307	3, 112, 861	0	0	0	0				
	執 行 率	96.4%	95. 7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
(人	件費)										
	職 員 数	0.87	0. 95								
	職員人件費	6, 683, 013	7, 465, 189								
	嘱託員数	0	0								
	嘱託員人件費	0	0								
(間:	接経費)										
	間 接 経 費	11, 069	12, 844								
	総コスト	11, 389, 939	12, 146, 544	0	0	0	0				

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果

- 【青少年委員の活動内容】
 ▽放課後子ども教室やナイトハイクなど市主催事業における実行委員として企画・運営を行った。
 ▽東京都及び近隣市の青少年健全育成に関する情報を収集し、府中市の青少年の健全育成に活かした。
 ▽青少年団体の育成、指導者に対する助言及び指導等を行い、青少年団体相互の連絡調整を行った。
 ▽市の委託事業であるジュニアリーダー講習会やデイキャンプ事業について、円滑に実施した。

今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

▽青少年の健全育成を推進するため、青少年委員の活動を充実させる。 ▽ジュニアリーダー講習会が子どもたちにとって参加しやすいものとなるよう内容を工夫する。

			石		事 業 コード	又 笛声	H30年度		H31年度	
	会計	款	垻	目	コード	予算事業名 	当初予算額	決算額	当初予算額	
1	01	50	30	10	1520100	青少年委員活動費	4, 825, 000	4, 617, 211	4, 898, 000	
2	01	50	30	10	1544000	負担金 東京都青少年委員会連合会	54, 000	51, 300	54, 000	
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
						슴 計	4, 879, 000	4, 668, 511	4, 952, 000	

 記載年月
 令和元年8月

 対象年度
 平成30年度

1 事務事業の概要

事務	事業名	青少年団体育成奨励事業	事務事業コード 30550600							
概	要									
<i>w</i> . ^	基本施策	8 青少年の健全育成	主管部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課						
総合計画	施策	55 青少年の健全育成	事業類型	任意事業						
I	事業種別	その他の事務事業 事業開始年度 昭和40年度 ~	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり						
根拠	上法 令等									
市関]連事業									
対	象	青少年								
実 施	の背景	音楽活動を通じて、情操豊かな青少年の健全育成を図るため、青	青少年音楽団体の活動	かを支援している。						
事	業 目 標	年齢の異なる集団の中で、音楽技術と協調性を身につけ、青少年	手の健やかな成長及 び	『音楽文化の向上を目指す。						
事	業 内 容	▼青少年文化活動事業援助は、市内で恒常的に活動している青少年の音楽団体に対し、府中の森芸術劇場等での発表会等の会場使用料の一部を援助している。 ▼国内で開催される芸術祭・コンクール等に参加出演する、市内の青少年団体に対して、対象経費の2分の1の額(上限27万円)を補助する。行事の主催者等が補助金の一部を負担するときは、主催者等が負担する額を差し引いた額の2分の1(上限13万5千円)を補助する。								
2	事業計画・	評価								

事 業 内 容 ▼青少年文化活動事業援助は、市内で恒常的に活動している青少年の音楽団体に対し、府中の森芸術劇場等での発表会等の会場使用料の一部を援助している。 ▼国内で開催される芸術祭・コンクール等に参加出演する、市内の青少年団体に対して、対象経費の2分の1の額(上限27万円)を補助する。行事の主催者等が補助金の一部を負担するときは、主催者等が負担する額を差し引いた額の2分の1(上限13万5千円)を補助する。									
2 事業計画・評価									
H29年度実績 (Do)			H29年度評価	(Check)	評価内容 B 現状のまま継続				
(1) 青少年文化活動事業援助 (2) 府中市青少年団体の芸術	カ 6団体 5祭・コンクール等参加補助金	1団体	した。)青少年文化団体	の文化活動の発表に係る使用料の一部を接助が全国規模大会へ参加する場合、予算の範囲				
□新規・	・レベルアップ 🔽 継続	□ 見直	[し 🔲 ß	海止 H29 :	年度評価に基づく見直し(Action)				
H30年度の具体的な取組(I	Plan)		H30年度の方	方向性 (Plan)					
(1) 青少年文化活動事業援助		1 11 14 2 4		活動する青少年の	の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助				
(2) 府甲市青少年団体の芸術	 条・コンクール等参加補助金	1 団体予定	する。 (2)市内の 内で援助する		が全国規模大会へ参加する場合、予算の範囲				
H30年度実績(Do)			H30年度評価	(Check)	評価内容 B 現状のまま継続				
(1) 青少年文化活動事業援助 (2) 府中市青少年団体の芸術		1団体	することによ	、り、活動成果の う青少年文化団体	の文化活動の発表に係る使用料の一部を援 発表の場を提供することができた。 が全国規模の大会へ参加に際して、予算の€				
□新規・	・レベルアップ 🗸 継続	□見直	ib 🗆 🛭	毫止 H30 :	年度評価に基づく見直し (Action)				
H31年度の具体的な取組(H	olan)		H31年度の方	方向性 (Plan)					
(1) 青少年文化活動事業援助 (2) 府中市青少年団体の芸術	カ 6団体 5祭・コンクール等参加補助金	1団体予定	する。	青少年文化団体	の文化活動の発表に係る使用料の一部を接助が全規模の大会へ参加する場合、予算の範囲				
令和 2年度における事業の)位置付け								
A 重点化・拡大して継続				青少年文化活動	事業援助及び府中市青少年団体の芸術祭・コ				
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない		D	援助する。	補助金については、引き続き予算の範囲内で				
	2 見直しには法令等の改正が		В						
	3 見直しの必要性はあるが時 4 現状では見直しが不可能	·荆冋毕							
 C 見直して継続	1 見直し・縮小								
	2 他事業との整理・統合								
D 休止・廃止等	1 休止		1						
	2 廃止		*						
	っ 今マ								

指標名	基準値			事業推移		目標値・		指標の分析	
担保石	(単位)		H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	目標年度	担保の力切	
	-	計 当初値	7	7	7	7	7	計画値に対し、実績が下回っているが、予算の範囲内での援助とな	
青少年文化活動事業援助団 体数	7	値補正値	6	6	6	6	令和 3年度	るが、予算の範囲内での援助となるため、計画値を越えての申請に ついては援助できない可能性があ	
	団体	実 績	4	1	ı	1	-	│る。 │実績に応じて予算を計上している	
		計 当初値	-	-	-	-	-	ため、計画値の補正を行った。	
	_	値補正値	-	-	-	-	-		
	-	実 績	_	-	-	_	_	+ ()// +n/+) > LP +)	

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1		
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	すでに市が育成してい? を移行したため。	すでに市が育成していた音楽団体3団体全て府中文化振興財団に運営主体 を移行したため。			
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2	
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2	
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3	
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2	
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3	

4 事業費・人件費等の推移

(事)	: 17.	、 人)	
D	1年	#	

7 7										
		H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度			
(事業	業費)									
	当初予算額	698, 000	696, 000	696, 000	0	0	0			
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0			
	都支出金	0	0	0	0	0	0			
	市債	0	0	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	698, 000	696,000	696, 000	0	0	0			
	予算現額	698, 000	696, 000	0	0	0	0			
	決 算 額	431, 528	305, 898	0	0	0	0			
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0			
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0			
	市債	0	0	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	431, 528	305, 898	0	0	0	0			
;	執 行 率	61.8%	44.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
(人作	牛費)									
	職員数	0.03	0.03							
	職員人件費	236, 358	235, 743							
	嘱託員数	0	0							
	嘱託員人件費	0	0							
(間接	接経費)									
	間接経費	8, 432	6, 658							
	総コスト	676, 318	548, 299	0	0	0	0			

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果

青少年音楽団体育成事業は、吹奏楽や合唱を行う青少年の団体に対し、週1~3回の継続した音楽活動の場所を提供し、学区や学年の異なる団体活動を通じて育成を実施した。新たな事業展開を図るため、29年度から府中文化振興財団へ運営主体を完全移行すべく、引継ぎを行った。青少年文化活動事業援助は、青少年の文化活動の発表に係る使用料の一部を援助した。全国規模の大会に出場した市内の青少年文化団体に対し、交通費及び 宿泊費の一部を援助した。

今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

青少年文化活動事業援助については、引き続き予算の範囲内で援助する。府中市青少年団体の芸術祭・コンクール等参加補助金については、複数の 団体が補助の対象となった場合、予算の割振り額が課題となる。

	1円/火=				事 業	マ体市サカ	H30年度		H31年度
	会計	款	項	目	事 業 コード	予算事業名 	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	10	1531000	青少年団体育成奨励費	426, 000	257, 608	426, 000
2	01	50	30	10	1548500	補助金 青少年団体大会参加	270, 000	48, 290	270, 000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						슴 計	696, 000	305, 898	696, 000

 記載年月
 令和元年8月

 対象年度
 平成30年度

1	事務事業の	概要	1 事務事業の概要									
事	務事業名	青少年体験活動運営事業	青少年体験活動運営事業									
概	要	野外活動や体験活動の実施	·									
4/\ A	基本施策	8 青少年の健全育成	主管部課名	子ども家庭部 児童青少年課								
総合計画	施策	55 青少年の健全育成	事業類型	任意事業								
	事業種別	その他の事務事業 事業開始年度 ~	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり								
根	処 法 令 等											
卡	関連事業											
対	象	市内在住・在学の小学生から高校生まで	市内在住・在学の小学生から高校生まで									
実力	施の背景	完全学校週五日制の実施などを背景に、学校教育と社会教育を:	通じた青少年の奉仕活	舌動・体験活動の推進をする。								
事	業 目 標	青少年の健全な成長を促すため、自然体験など青少年の多様な 育成をする。	体験活動への参加の機	幾会や活動拠点を提供し人間性豊かな青少年	こ の							
事	業内容	▽ナイトハイク事業 参加者の交流や市内の名所を学ぶための府中市内を巡る約10kmのウォーキング ▽デイキャンプ事業 屋外での炊事やレクリエーションを中心とした体験活動 ▽青少年体験事業 各種体験活動 ▽キャンプ訓練場の貸出 キャンプに必要な知識や技術の習得を希望する青少年団体に対する、四谷第四公園内にある青少年キャンプ訓練場の場所及び用具の貸出										
2	事業計画・	評価										
H29	年度実績(Do) H29年	度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続								
▽第	23回ナイト	·ハイク 雨天中止 マナ/	イトハイク事業は雨天	そのため中止となった。								

ャンプ訓練場の場所及び用具の貸出	XMの目的で加重する日グーロ中に対する、日本男日五國F11にのる日グーコ
2 事業計画・評価	
H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check) 評価内容 B 現状のまま継続
▽第23回ナイトハイク 雨天中止 ▽デイキャンプ事業 参加者141人 ▽青少年体験事業 参加者121人 ▽レクリーダー事業 16人 ▽キャンプ訓練場の使用状況 場所と用具25件、場所のみ6件、用具のみ5件	▽ナイトハイク事業は雨天のため中止となった。 ▽市内の大学と協働することによって、日頃体験できない事業を実施することができた。
□ 新規・レベルアップ ☑ 継続 □ 見	直し 原止 H29年度評価に基づく見直し (Action)
H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
▽第24回ナイトハイクの実施 ▽デイキャンプ事業の実施 ▽青少年体験事業の実施 ▽レクリーダー事業の実施 ▽キャンプ訓練場の管理、貸出	▽子どもたちが参加しやすい事業を展開する。 ▽子ども同士の交流促進に繋がる事業を展開する。 ▽市内の学校やNPOとの協働を図る。 ▽天候に左右されない事業を取り入れる。 ▽中高生にとっても興味の持てる事業を実施する。
H30年度実績(Do)	H30年度評価 (Check) 評価内容 B 現状のまま継続
▽第24回ナイトハイク 参加者279人 ▽デイキャンプ事業 雨天中止 ▽青少年体験事業 参加者69人 ▽レクリーダー事業 23人 ▽キャンプ訓練場の使用状況 場所と用具15件、場所のみ8件、用具のみ7件	▽事業を実施することで、青少年に様々な体験の機会を提供することができた。 ▽市内の大学と協働することによって、日頃体験できない事業を実施することができた。
新規・レベルアップ ☑ 継続 □ 見	・ 直し □ 廃止 H30年度評価に基づく見直し(Action)
H31年度の具体的な取組 (Plan)	H31年度の方向性 (Plan)
▽第25回ナイトハイクの実施 ▽デイキャンプ事業の実施 ▽青少年体験事業の実施 ▽レクリーダー事業の実施 ▽キャンプ訓練場の管理、貸出	▽子どもたちが参加しやすい事業を展開する。 ▽子ども同士の交流促進に繋がる事業を展開する。 ▽市内の学校やNPOとの協働を図る。 ▽天候に左右されない事業を取り入れる。 ▽中高生にとっても興味の持てる事業を実施する。
令和 2年度における事業の位置付け	
A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続 1 大幅な見直しは必要ない	青少年が様々な体験を行うことで、健全で豊かな精神を育む ことに寄与しているため、現状のまま継続する。

令和 2年度における事業の	令和 2年度における事業の位置付け									
A 重点化・拡大して継続			青少年が様々な体験を行うことで、健全で豊かな精神を育む ことに寄与しているため、現状のまま継続する。							
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない		ことに寄与しているため、現状のまま継続する。							
	2 見直しには法令等の改正が必須	R								
	3 見直しの必要性はあるが時期尚早	D								
	4 現状では見直しが不可能									
C 見直して継続	1 見直し・縮小									
	2 他事業との整理・統合									
D 休止・廃止等	1 休止	1								
	2 廃止	_								
	3 完了									

指標名	基準値		事業推移					指標の分析	
14 保石	(単位)		H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	目標年度	1日1宗(ソノ) 171	
		計 当初値	ı	ı	-	ı	ı	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設	
	1	値補正値	_	-	-	-	-	定は行わない。	
	_	実 績	ı	1	-	ı	ı		
		計 当初値	-	-	-	-	-		
	_	値補正値	ı	1	-	1	ı		
	_	実 績	-	-	-	-	-		

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1			
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2		
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	地域の青少年健全育成を目的としているため					
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3		
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3		
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3		
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3		
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2		

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

7 7		F 17	(辛匹:11、八)				
		H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業	業費)						
	当 初 予 算 額	1, 489, 000	1, 567, 000	1, 421, 000	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	204, 000	196, 000	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	304, 000	227, 000	246, 000	0	0	0
	一般財源	1, 185, 000	1, 136, 000	979, 000	0	0	0
	予算現額	1, 489, 000	1, 567, 000	0	0	0	0
	決 算額	972, 563	1, 442, 237	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	280, 000	309,000	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	122, 600	144, 600	0	0	0	0
	一般財源	569, 963	988, 637	0	0	0	0
į	執 行 率	65.3%	92.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人作	牛費)						
	職員数	0.62	0.60				
	職員人件費	4, 762, 607	4, 714, 856				
	嘱託員数	0	0				
	嘱託員人件費	0	0				
(間括	妾経費)						
	間接経費	7, 888	8, 112				
	総コスト	5, 743, 058	6, 165, 205	0	0	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果

▽体験活動事業実施回数 平成23年度4回、平成24年度7回、平成25年度5回、平成26年度3回、平成27年度2回、平成28年度5回、平成29年度4回、平成30年度4回 ▽中高生ひろば事業

平成23年度2講座、平成24年度2講座

今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

▽多くの参加者が見込まれる事業内容を企画する。 ▽市内の学校やNPOとの協働により、日頃体験できないような企画を立案する。

	仲 从□			В	事 業 コード	圣 笛車	H30年度		H31年度
	会計	款	垻	目	コード	予算事業名	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	50	30	10	1532000	青少年体験活動運営費	1, 567, 000	1, 442, 237	1, 421, 000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						슴 計	1, 567, 000	1, 442, 237	1, 421, 000

 記載年月
 令和元年8月

 対象年度
 平成30年度

1 事務事業の概要

事務事業名	放課後子ども教室事業		事務事業コート	30550800									
概要	放課後子ども教室事業の実施												
基本施策 総合 佐 安	8 青少年の健全育成	3	主管部課名	子ども家庭	医部 児童青少年調	Ŗ.							
計画 施 策	55 青少年の健全育成		事業類型	任意事業									
事業種別	その他の事務事業 事業開始年度 平成194	年度 ~ 見	直しの裁量.	市に事業見	見直しの裁量あり								
根拠法令等	放課後子ども総合プラン 府中市放課後子ども教室	実施要綱											
市関連事業	学童クラブ事業	<u>牟童</u> クラブ事業											
対 象	市内在住の小学生												
実施の背景	児童を対象とする犯罪の増加など子どもを取り巻く環境の悪化により、放課後の安心安全な居場所の提供が必要になったため												
事業目標	学童クラブ事業と連携し、希望する全ての児童に安												
事業内容	青少年健全育成を目的とするNPO等の団体に運営: 後等の安心安全な居場所を提供している。対象は、 険料の負担あり) 地域の方の参画を得て、地域全体で子どもたちを 構成員とした、各小学校単位に設置する放課後子と	平成19年に3つの小学校で先行実施し、平成20年度より22の全市立小学校に拡大した。 青少年健全育成を目的とするNP0等の団体に運営を委託し、小学校の余裕教室や校庭、体育館等を活用して、学校敷地内で放課 後等の安心安全な居場所を提供している。対象は、その小学校に在籍する児童1~6年生で、参加料は無料。(年間800円の保 険料の負担あり) 地域の方の参画を得て、地域全体で子どもたちを育む体制づくりを目指す目的で実施されているため、学校・家庭・地域の方を 構成員とした、各小学校単位に設置する放課後子ども教室実行委員会において、放課後子ども教室事業への意見聴取や地域の子ど もたちを対象とするイベントの実施等を行っている。											
2 事業計画・													
H29年度実績(価 (Check)		 容 B 現状のま								
▽放課後子ども教 との連携について など、連携に努め	(室受託事業者が集まる業務連絡会において、学童ク協議するとともに、学童クラブと合同でイベントをでかった。	ラブ ▽放課後子 行う し検討を始 を行った。				、検討機関を設置 討会にて意見聴取							
▽春季・夏季休業 ▽放課後子ども総	期間の開催日数を増やして実施した。 合プラン検討会を開催し、放課後子ども教室と学童 について意見聴取した。	▽学童クラ			など)を実施した 開催日数を増やし	で実施することが							
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	■ 新規・レベルアップ☑ 継続	 見直し 🔲	廃止 ト	129年度評価	版基づく見直 l	(Action)							
H30年度の具体	的な取組(Plan)	H30年度の	方向性(Plan)									
H30年度の具体的な取組 (Plan)													
					11 7 0								
	- 一ズに対応した体制整備に努める。		価 (Check)	評価内		ま継続							
▽必要に応じ、ニ H30年度実績 (▽放課後子ども考 議会に放課後子ども考 ▽ 放課後子ども考	一ズに対応した体制整備に努める。 Do) 数室と学童クラブの一体的運営について子ども・子育 部会を設置し検討した。 数室受託事業者が集まる業務連絡会において、学童ク に協議するとともに、学童クラブと合同でイベントを	H30年度評 て審 ▽ 放課後子 て審議会に デブ 業の安定的	. 放課後対策部会 な運営に向けて ブとの合同イベ	を設置し、 、課題の整	9客 B 現状のま 体的な運営につい 放課後子ども教室 理と今後の方向性	ま継続 N て、子ども・子育 M と学童クラブ両事 E の検討を行った。 E し、連携をはかる							
▽必要に応じ、ニH30年度実績(▽放課後子ども考議会に被決子ども考験との連携について	- 一ズに対応した体制整備に努める。 Do) 数室と学童クラブの一体的運営について子ども・子育部会を設置し検討した。 数室受託事業者が集まる業務連絡会において、学童クースをでいる。 おいる、学童クラブと合同でイベントをいた。	H30年度評 て審 マ放課後子 て審義会に デッグ デック デック できる サップ スピー アンプ スピー アンプ スピー アンプ スピー アンプ スピー アンプ スピー アンプ スピー アンプ スピー アンプ スピー アンプ スピー アンプ スピー アンプ スピー アンプ スピー アンプ スピー スピー スピー スピー スピー スピー スピー スピー スピー スピー	・ども教室と学章:放課後対策部会 が課選営に向けて ブとの合同イベ	を を設置し、 で 、課題の整 で、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	9客 B 現状のま 体的な運営につい 放課後子ども教室 理と今後の方向性	いて、子ども・子育 ると学童クラブ両事 近の検討を行った。 近し、連携をはかる							
✓必要に応じ、ニH30年度実績(▽放課後子ども教養会に複数でである。▽放課機能に対している。◇放課機能に対している。など、連携に努める。	- 一ズに対応した体制整備に努める。 Do) 数室と学童クラブの一体的運営について子ども・子育部会を設置し検討した。 数室受託事業者が集まる業務連絡会において、学童クースを登ります。 おいれて、学童クラブと合同でイベントをした。	H30年度評 て審 ▽放課後子に デラブ マンとができ 見直し H31年度の	だも教室と学音会 が表現である。 一次のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	- タラブの一 会を設置し、 で、課題の整 ベントや合同: 130年度評価	3客 B 現状のま体的な運営についた課後子ども教室理と今後の方向性避難訓練等を実施	いて、子ども・子育 MEと学童クラブ両事 Eの検討を行った。 Eし、連携をはかる (Action)							
→ N W W W W W W W W W W W W W W W W W W	Do) 文室と学童クラブの一体的運営について子ども・子育 女室を設置し検討した。	H30年度評 て審	だも教室と学音会 が表現である。 一次のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	- フラブの一 会を設置し、 で設置し、 で、 記が、 20年度評価 (20月ブの一位 (20月ブの一位)	3客 B 現状のま体的な運営についた課後子ども対理と今後の方向性避難訓練等を実施 「に基づく見直しないない。」 は、	いて、子ども・子育 延と学童クラブ両事 近の検討を行った。 近し、連携をはかる							
 →必要に応じ、ニー・ → H30年度実績(▽ 放課の機能を表する。 → 大きを表する。 →	Do) 文室と学童クラブの一体的運営について子ども・子育 対象を設置し検討した。	H30年度評 て審	送も教室と学覧会 が表現である。 一次のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	- フラブの一 会を設置し、 で設置し、 で、 記が、 20年度評価 (20月ブの一位 (20月ブの一位)	3客 B 現状のま体的な運営についた課後子ども対理と今後の方向性避難訓練等を実施 「に基づく見直しないない。」 は、	いて、子ども・子育 MA と学童クラブ両事 Eの検討を行った。 Eし、連携をはかる (Action)							
 →必要に応じ、ニー・ → H30年度実績(▽ 放課の機能を表する。 → 大きを表する。 →	Do) 文室と学童クラブの一体的運営について子ども・子育養部会を設置し検討した。 女室受託事業者が集まる業務連絡会において、学童クラブと合同でイベントをかた。	H30年度評 て審	を表する。 を表するでは、 を表するでする。 をまるでするでする。 をまるでするでする。 をまるでするでする。 をまるでするでする。 をまるでするでする。 をまるでするでする。 をまるでするでする。 をまるでするでする。 をまるでするでする。 をまるでするでする。 をまるでするでするでする。 をまるでするでするでする。 をまるでするでするでする。 をまるでするでするでする。 をまるでするでするでする。 をまるでするでするでするでする。 をまるでするでするでするでする。 をまるでするでするでするでする。 をまるでするでするでするでするでするでするでするでするでするでするでするでするでする	130年度評価	3容 B 現状のま体的な運営にも物質とも対対は、平成 は、平成 ででいる ででいる ででいる 動向 は でいて でいる 動向 な 運営 について ない でない でない の 動向 に な の あい で は 、	いて、子ども・子育 MEと学童クラブ両事 Eの検討を行った。 Eし、連携をはかる (Action)							
 → A 2年度によれる A 重点化・拡力 	Do) 図室と学童クラブの一体的運営について子ども・子育 図室受託事業者が集まる業務連絡会において、学童クラブと合同でイベントを 協議するとともに、学童クラブと合同でイベントを のた。 一	H30年度評 て審 ラブ 大変 大変 とができ ラで で	を を を を を を を を を を を を を を	130年度評価	3容 B 現状のま体的な運営にも物質とも対対は、平成 は、平成 ででいる ででいる ででいる 動向 は でいて でいる 動向 な 運営 について ない でない でない の 動向 に な の あい で は 、	で、子ども・子育事 と学童クラブ声を にの検討を行っかる にし、連携をはかる (Action) で、どのような方 の本格実 続き、放課後子ど							
H30年度実績 (*** *** *** *** *** *** *** *** ***	Do) 対	H30年度評 て審 ラブ 大変 大変 とができ ラで で	を を を を を を を を を を を を を を	130年度評価	3容 B 現状のま体的な運営にも物質とも対対は、平成 は、平成 ででいる ででいる ででいる 動向 は でいて でいる 動向 な 運営 について ない でない でない の 動向 に な の あい で は 、	で、子ども・子育 MEと学童カラブ声を Eの検討を行っかる (Action) (Action) で、どのような方 の本格実 続き、放課後子ど							

3 完了

指標名	基準値	事業推移					目標値・	指標の分析	
11保石	(単位)		H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	目標年度	1日1宗(ジノ) 171	
		計 当初値	32	33	34	35	35		
平均参加児童数	30.8	値補正値	_	_	-	-	令和 3年度		
	人	実 績	31. 6	-	-	ı	-		
		計 当初値画	-	-	-	-	-		
	_	値補正値	-	-	-	ı	_		
	-	実 績	-	-	_	_	-		

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1		
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	小学校に通う児童の安心安全な居場所を確保する目的から、学校施設内で 実施することが原則であるため。				
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2	
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2	
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3	
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3	
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2	

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	F未具 八叶貝号(V)	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
/ + -1	₩ # \	1123千尺	1100千尺	加十尺	1、2十尺	11 0千皮	八十八人
	業費)						
	当 初 予 算 額	160, 007, 000	154, 842, 000	163, 422, 000	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	56, 017, 000	57, 398, 000	63, 973, 000	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	103, 990, 000	97, 444, 000	99, 449, 000	0	0	0
	予算現額	160, 007, 000	154, 842, 000	0	0	0	0
	決 算 額	155, 955, 244	152, 215, 089	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	54, 266, 000	56, 700, 141	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	101, 689, 244	95, 514, 948	0	0	0	0
+	執 行 率	97. 5%	98.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人作	件費)						
	職員数	1.85	1. 90				
	職員人件費	14, 211, 004	14, 930, 379				
	嘱 託 員 数	0	0				
	嘱託員人件費	0	0				
(間括	接経費)						
	間接経費	23, 538	25, 689				
	総コスト	170, 189, 786	167, 171, 157	0	0	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果

平成19年に3つの小学校で先行実施し、平成20年度より22の全市立小学校に拡大した。学校や地域住民等と協力・連携を図りながら、小学校施設を利用して、子どもたちに放課後等の安心安全な居場所を提供した。平成25年度には、魅力ある教室づくりを目指して、工作教室やスポーツ、レクリエーション等のイベントを実施するなど内容の見直しを行った。平成26年度は1年生の参加開始を5月から4月に前倒しして実施するとともに、夏休みの実施時間の延長や昼食持参を可能にした。平成28年度は配慮が必要な児童に対し、必要なスタッフを配置したほか、平成29年度は春季・夏季休業期間の開催日数を増やして実施した。

今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

児童数増加に伴い余裕教室がなくなった場合の実施場所の確保や、高学年の参加率の向上が今後の課題である。 一体型の学童クラブと放課後子ども教室を中心とした児童のニーズに応じた事業の見直しや質の向上を図る。

	会計	款	項		事 業 コード	予算事業名	H30年度		H31年度	
	五司	水	垬	п	コード		当初予算額	決算額	当初予算額	
1	01	50	30	10	1535000	放課後子ども総合プラン検討会運営費	79, 000	0	79, 000	
2	01	50	30	10	1536000	放課後子ども教室事業費	154, 763, 000	152, 215, 089	163, 343, 000	
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
						合 計	154, 842, 000	152, 215, 089	163, 422, 000	

記載年月 令和元年8月 対 象 年 度 平成30年度

事務事業の概要

D 休止・廃止等

事務事業名	青少年問題協議会運営事業		事務事業 30550900							
概要	青少年の指導・育成・保護・矯正に関する総合的な施策	の調査・審議・実施								
基本施策	8 青少年の健全育成	主管部課名	子ども家庭部 児童青少年課							
総合施策	55 青少年の健全育成	事業類型	任意事業							
事業種別	その他の事務事業 事業開始年度 ~	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり							
根拠法令等	地方青少年問題協議会法、府中市青少年問題協議会条例									
市関連事業	青少年健全育成事業									
対 象	市長、府中市議会の議員、学識経験を有する者、関係行	「 政庁の職員、府中市の職員								
実施の背景	施の背景 昭和28年の地方青少年問題協議法の制定により、昭和31年に府中市青少年問題協議会条例を制定し実施している。									
事業目標	青少年の指導・育成・保護・矯正に関する総合的な施策	の調査・審議・実施及び必要	立な関係機関との連携を図る。							
事業内容	事 業 内 容 青少年の指導・育成・保護・矯正に関する総合的な施策の樹立に当たり、関係機関との連携調整を図るため、市議会議員、学識経験者、関係行政庁職員、市職員の30人で構成する青少年問題協議会を設置しており、必要に応じて開催する協議会の運営を行う。									
2 事業計画・	評価									
H29年度実績(00)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続							
▽平成29年7月			いて、府中市における青少年の現状についての							
講領、育少年度 況、青少年の非行	全育成事業の実施状況、青少年対策地区委員会の活動状 ・補導状況、児童相談の現状、市内小・中・高校の現状	分析や情報交換ができた。 ▽「インターネット利用に	関わる問題行動の未然防止対策の現状について							
【 、情報交換【 ▽平成30年2月	5 F		学校校長会・生活指導主任会委員長を講師に招 。府中市青少年健全育成方針についても、イン							
講演、平成30	5 I 年度府中市青少年健全育成基本方針(案)について、情	ターネット上における非行	・被害防止に関する内容を盛り込んだ。							
報交換										
<u> </u>	- □ 新規・レベルアップ ☑ 継続 □ 見正	īし □ 廃止 H ·	29年度評価に基づく見直し (Action)							
H30年度の具体	的な取組(Plan)	H30年度の方向性 (Plan								
▽年度中2回の協	議会の開催 く現状把握・分析のための委員向けの講演	▽時代の変化に伴う、青少 育成基本方針を策定する。	年を取り巻く環境の変化に対応した青少年健全							
	全育成基本方針の策定	177744 1 7777 2717 2 7								
H30年度実績(00)	H30年度評価(Check)	評価内容 B 現状のまま継続							
		/X (0.1.001.1)	計画17日 りんパッなな極地							
▽平成30年7月		▽年度中2回の協議会にお	いて、府中市における青少年の現状についての							
講演、青少年例	6日 全育成事業の実施状況、青少年対策地区委員会の活動状 ・補導状況、児童相談の現状、市内小・中・高校の現状	▽年度中2回の協議会にお								
講演、青少年側 況、青少年の非行 、情報交換	全育成事業の実施状況、青少年対策地区委員会の活動状・補導状況、児童相談の現状、市内小・中・高校の現状	▽年度中2回の協議会にお 分析や情報交換ができた。 ▽「ひきこもりの実態と課 動法人育て上げネットから	いて、府中市における青少年の現状についての 題について」等をテーマに、認定特定非営利活 講師を招き、委員に講演を実施した。府中市青							
講演、青少年傾況、青少年の非行 、情報交換 ▽平成31年2月	全育成事業の実施状況、青少年対策地区委員会の活動状・補導状況、児童相談の現状、市内小・中・高校の現状	▽年度中2回の協議会にお 分析や情報交換ができた。 ▽「ひきこもりの実態と課 動法人育て上げネットから 少年健全育成方針について	いて、府中市における青少年の現状についての 題について」等をテーマに、認定特定非営利活							
講演、青少年傾況、青少年の非行 、情報交換 ▽平成31年2月	全育成事業の実施状況、青少年対策地区委員会の活動状・補導状況、児童相談の現状、市内小・中・高校の現状 4日 中市青少年健全育成基本方針(案)について、情報交換	▽年度中2回の協議会にお 分析や情報交換ができた。 ▽「ひきこもりの実態と課 動法人育て上げネットから 少年健全育成方針について 審者情報に対する柔軟な見	いて、府中市における青少年の現状についての 題について」等をテーマに、認定特定非営利活 講師を招き、委員に講演を実施した。府中市青 も、SNSトラブルを防止するための対策や不 守り体制の充実に関する内容を盛り込んだ。							
講演、青少年傾況、青少年の現代 では、情報交換 ででは、「では、「では、「では、「では、「では、では、では、では、では、では、では、では、できない。」では、「では、「では、「では、できない。」では、「では、「では、できない。」では、「では、できない。」では、「できない。」では、できない。」では、できない。」では、「できない。」では、できない。」では、できない。」では、「できない。」では、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、	全育成事業の実施状況、青少年対策地区委員会の活動状・補導状況、児童相談の現状、市内小・中・高校の現状 4日 中市青少年健全育成基本方針(案)について、情報交換 - 新規・レベルアップ	▽年度中2回の協議会にお 分析や情報交換ができた。 ▽「ひきこもりの実態と課動法人育て上げネットから 少年健全育成方針について 審者情報に対する柔軟な見	いて、府中市における青少年の現状についての 題について」等をテーマに、認定特定非営利活 講師を招き、委員に講演を実施した。府中市青 も、SNSトラブルを防止するための対策や不 守り体制の充実に関する内容を盛り込んだ。 30年度評価に基づく見直し(Action)							
講演、青少年領況、青少年領況、青少年の非行、情報交換 マ平成31年2月 平成31年度所	全育成事業の実施状況、青少年対策地区委員会の活動状・補導状況、児童相談の現状、市内小・中・高校の現状 4日 中市青少年健全育成基本方針(案)について、情報交換 ・ 新規・レベルアップ	▽年度中2回の協議会にお 分析や情報交換ができた。 ▽「ひきこもりの実態と課動法人育て上げネットから 少年健全育成方針について 審者情報に対する柔軟な見	いて、府中市における青少年の現状についての 題について」等をテーマに、認定特定非営利活 講師を招き、委員に講演を実施した。府中市青 も、SNSトラブルを防止するための対策や不 守り体制の充実に関する内容を盛り込んだ。 30年度評価に基づく見直し(Action)							
講演、青少年領 況、青少年の非行、情報交換 ▽平成31年2月 平成31年度所 平成31年度所	全育成事業の実施状況、青少年対策地区委員会の活動状・補導状況、児童相談の現状、市内小・中・高校の現状 4日 中市青少年健全育成基本方針(案)について、情報交換 ・ 新規・レベルアップ	▽年度中2回の協議会にお 分析や情報交換ができた。 ▽「ひきこもりの実態と課動法人育て上げネットから 少年健全育成方針について 審者情報に対する柔軟な見	いて、府中市における青少年の現状についての 題について」等をテーマに、認定特定非営利活 講師を招き、委員に講演を実施した。府中市青 も、SNSトラブルを防止するための対策や不 守り体制の充実に関する内容を盛り込んだ。 30年度評価に基づく見直し(Action)							
講演、青少年傾況、青少年傾況、情報交換 ▽平成31年2月 平成31年度所 H31年度の具体 ▽年度中2回の協 ▽青少年を取り巻	全育成事業の実施状況、青少年対策地区委員会の活動状・補導状況、児童相談の現状、市内小・中・高校の現状 4日 中市青少年健全育成基本方針(案)について、情報交換 ・ 新規・レベルアップ	▽年度中2回の協議会にお 分析や情報交換ができた。 ▽「ひきこもりの実態と課動法人育て上げネットから 少年健全育成方針について 審者情報に対する柔軟な見 I	いて、府中市における青少年の現状についての 題について」等をテーマに、認定特定非営利活 講師を招き、委員に講演を実施した。府中市青 も、SNSトラブルを防止するための対策や不 守り体制の充実に関する内容を盛り込んだ。							
講演、青少年傾況、青少年傾況、情報交換 ▽平成31年2月 平成31年度所 H31年度の具体 ▽年度中2回の協 ▽青少年を取り巻	全育成事業の実施状況、青少年対策地区委員会の活動状・補導状況、児童相談の現状、市内小・中・高校の現状 4日 中市青少年健全育成基本方針(案)について、情報交換 ・ 新規・レベルアップ	▽年度中2回の協議会にお 分析や情報交換ができた。 ▽「ひきこもりの実態と課動法人育て上げネットから 少年健全育成方針について 審者情報に対する柔軟な見 I	いて、府中市における青少年の現状についての 題について」等をテーマに、認定特定非営利活 講師を招き、委員に講演を実施した。府中市青 も、SNSトラブルを防止するための対策や不 守り体制の充実に関する内容を盛り込んだ。							
講演、青少年傾況、青少年傾況、情報交換 ▽平成31年2月 平成31年度所 H31年度の具体 ▽年度中2回の協 ▽青少年を取り巻	全育成事業の実施状況、青少年対策地区委員会の活動状・補導状況、児童相談の現状、市内小・中・高校の現状 4日 中市青少年健全育成基本方針(案)について、情報交換 ・ 新規・レベルアップ	▽年度中2回の協議会にお 分析や情報交換ができた。 ▽「ひきこもりの実態と課動法人育て上げネットから 少年健全育成方針について 審者情報に対する柔軟な見 I	いて、府中市における青少年の現状についての 題について」等をテーマに、認定特定非営利活 講師を招き、委員に講演を実施した。府中市青 も、SNSトラブルを防止するための対策や不 守り体制の充実に関する内容を盛り込んだ。							
講演、青少年傾況、青少年候況、青水中で では、「情報でである。 では、「中では、「中では、「中では、「中では、」。 下では、「中では、」。 「中では、 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・	全育成事業の実施状況、青少年対策地区委員会の活動状・補導状況、児童相談の現状、市内小・中・高校の現状 4日 中市青少年健全育成基本方針(案)について、情報交換 ・ 新規・レベルアップ	▽年度中2回の協議会にお 分析や情報交換ができた。 ▽「ひきこもりの実態と課動法人育て上げネットから 少年健全育成方針について 審者情報に対する柔軟な見 I	いて、府中市における青少年の現状についての 題について」等をテーマに、認定特定非営利活 講師を招き、委員に講演を実施した。府中市青 も、SNSトラブルを防止するための対策や不 守り体制の充実に関する内容を盛り込んだ。							
講演、青少年領況、青少年領況、青本学の非代、情報交換 ▽平成31年2月 平成31年度の具体 マ年度中2回の協 ▽青少年を取りき ▽府中市青少年健	全育成事業の実施状況、青少年対策地区委員会の活動状・補導状況、児童相談の現状、市内小・中・高校の現状 4日 中市青少年健全育成基本方針(案)について、情報交換 ・ 新規・レベルアップ	▽年度中2回の協議会にお 分析や情報交換ができた。 ▽「ひきこもりの実態と課動法人育て上げネットから 少年健全育成方針について 審者情報に対する柔軟な見 I	いて、府中市における青少年の現状についての 題について」等をテーマに、認定特定非営利活 講師を招き、委員に講演を実施した。府中市青 も、SNSトラブルを防止するための対策や不 守り体制の充実に関する内容を盛り込んだ。							
講演、青少年傾況、青少年候況、青水中で では、「情報でである。 では、「中では、「中では、「中では、「中では、」。 下では、「中では、」。 一では、「中では、」。 一では、「中では、」。 一では、「中では、」。 一では、「中では、」。 一では、「中では、」。 一では、「中では、」。 一では、「中では、」。 「中では、 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・ 「・	全育成事業の実施状況、青少年対策地区委員会の活動状・補導状況、児童相談の現状、市内小・中・高校の現状 4日 中市青少年健全育成基本方針(案)について、情報交換 ・ 新規・レベルアップ	▽年度中2回の協議会にお 分析や情報交換ができた。 ▽「ひきこもげネットから 事法人育て上げネットかいて 審者情報に対する柔軟な見 「し 原止 H H31年度の方向性 (Plang ▽青少年を取り巻く環境の する。	いて、府中市における青少年の現状についての 題について」等をテーマに、認定特定非営利活 講師を招き、委員に講演を実施した。府中市青 も、SNSトラブルを防止するための対策や不 守り体制の充実に関する内容を盛り込んだ。 30年度評価に基づく見直し(Action) 変化に対応した青少年健全育成基本方針を策定							
講演、青少年領況、青少年領況、青本学の非代、情報交換 ▽平成31年2月 平成31年度の具体 マ年度中2回の協 ▽青少年を取りき ▽府中市青少年健	全育成事業の実施状況、青少年対策地区委員会の活動状・補導状況、児童相談の現状、市内小・中・高校の現状 4日 中市青少年健全育成基本方針(案)について、情報交換 ・□ 新規・レベルアップ ☑ 継続 □ 見値 的な取組 (Plan) 議会の開催 く現状把握・分析のための委員向けの講演 全育成基本方針の策定 「ける事業の位置付け こして継続 に続 □ 大幅な見直しは必要ない	▽年度中2回の協議会にお 分析や情報交換ができた。 ▽「ひきこもはずれいできたり 動法人育で上げずれにかいて 審者情報に対する柔軟な見 し 廃止 H H31年度の方向性 (Plan) ▽青少年を取り巻く環境の する。	いて、府中市における青少年の現状についての 題について」等をテーマに、認定特定非営利活 講師を招き、委員に講演を実施した。府中市青 も、SNSトラブルを防止するための対策や不 守り体制の充実に関する内容を盛り込んだ。 30年度評価に基づく見直し(Action) 変化に対応した青少年健全育成基本方針を策定							
講演、青少年領況、青少年領況、青水学院、「中報でのます。」 「中報では、1年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度による。」 「中では、31年度による。 「中では、31年度による。」 「中では、31年度による。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる	全育成事業の実施状況、青少年対策地区委員会の活動状・補導状況、児童相談の現状、市内小・中・高校の現状 4日 中市青少年健全育成基本方針(案)について、情報交換 ・□ 新規・レベルアップ ☑ 継続 □ 見正 的な取組(Plan) 議会の開催 く現状把握・分析のための委員向けの講演 全育成基本方針の策定 ○ける事業の位置付け こして継続 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は	▽年度中2回の協議会にお 分析や情報交換ができた。 ▽「ひきことではなりの実態と課動法人育で上げネットかて 審者情報に対する柔軟な見 「し 原止 H H31年度の方向性 (Plan ▽青少年を取り巻く環境の する。	トリスティア (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)							
講演、青少年領況、青少年領況、青水学院、「中報でのます。」 「中報では、1年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度による。」 「中では、31年度による。 「中では、31年度による。」 「中では、31年度による。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる	全育成事業の実施状況、青少年対策地区委員会の活動状・補導状況、児童相談の現状、市内小・中・高校の現状 4日 中市青少年健全育成基本方針(案)について、情報交換 ・□ 新規・レベルアップ ☑ 継続 □ 見値 的な取組(Plan) 議会の開催 〈現状把握・分析のための委員向けの講演 全育成基本方針の策定 「いて継続 にして継続 には法令等の改正が必須 3 見直しの必要性はあるが時期尚早	▽年度中2回の協議会にお 分析や情報交換ができた。 ▽「ひきこもはずれいできたり 動法人育で上げずれにかいて 審者情報に対する柔軟な見 し 廃止 H H31年度の方向性 (Plan) ▽青少年を取り巻く環境の する。	いて、府中市における青少年の現状についての 題について」等をテーマに、認定特定非営利活 講師を招き、委員に講演を実施した。府中市青 も、SNSトラブルを防止するための対策や不 守り体制の充実に関する内容を盛り込んだ。 30年度評価に基づく見直し(Action) 変化に対応した青少年健全育成基本方針を策定 巻く環境の変化に対応した青少年健全育成に関 を策定するため、府中市青少年問題協議会条例							
講演、青少年領況、青少年領況、青水学院、「中報でのます。」 「中報では、1年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度の 「中では、31年度による。」 「中では、31年度による。 「中では、31年度による。」 「中では、31年度による。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる。 「もなる	全育成事業の実施状況、青少年対策地区委員会の活動状・補導状況、児童相談の現状、市内小・中・高校の現状 4日 中市青少年健全育成基本方針(案)について、情報交換 ・□ 新規・レベルアップ ☑ 継続 □ 見正 的な取組(Plan) 議会の開催 く現状把握・分析のための委員向けの講演 全育成基本方針の策定 「1 大幅な見直しは必要ない 2 見直しには法令等の改正が必須 3 見直しの必要性はあるが時期尚早 4 現状では見直しが不可能	▽年度中2回の協議会にお 分析や情報交換ができた。 ▽「ひきこもはずれいできたり 動法人育で上げずれにかいて 審者情報に対する柔軟な見 し 廃止 H H31年度の方向性 (Plan) ▽青少年を取り巻く環境の する。	トリスティア (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)							

1

2 他事業との整理・統合

1 休止 2 廃止 3 完了

指標名	基準値			事業推移			目標値・	指標の分析
拍标石	(単位)		H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	目標年度	相保の力が
		計 当初値	ı	ı	-	ı	ı	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設
	-	値補正値	_	_	-	-	-	定は行わない。
	_	実 績	ı	ı	-	ı	ı	
		計 当初値	-	-	-	-	-	
	=	値補正値	ı	1	-	1	ı	
	_	実績	-	-	-	ı	ı	

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1		
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	府中市青少年問題協議会条例で市に設置することが定められているため				
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2	
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3	
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	2	
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3	
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2	

4 事業費・人件費等の推移

(単位	: ۳.	١,	人)	
_			_	

/ Y/ / I

+ =							
		H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業	業費)						
	当 初 予 算 額	513, 000	506, 000	514, 000	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	513, 000	506, 000	514, 000	0	0	0
	予算現額	513,000	506, 000	0	0	0	0
	決 算額	415, 943	400, 548	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	415, 943	400, 548	0	0	0	0
	執 行 率	81.1%	79. 2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	牛費)						
	職員数	0. 27	0.30				
	職員人件費	2, 074, 038	2, 357, 428				
	嘱託員数	0	0				
	嘱託員人件費	0	0				
(間括	妾経費)						
	間接経費	3, 435	4, 056				
	総コスト	2, 493, 416	2, 762, 032	0	0	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果

- ▽年2回の協議会の開催 ▽青少年の健全育成に関する情報を収集・分析し、府中市青少年健全育成基本方針を策定した。 ▽学校、地域、警察など関係機関と連携し青少年の健全育成を推進した。

今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

- ▽地域の特性を活かした環境浄化活動・非行、被害防止活動・啓発活動の促進 ○携帯電話・スマートフォンなど最新の情報機器の普及や、それに伴うソーシャルネットワークサービスの利用に応じた青少年健全育成基本方針の
- ▽不審者情報に伴う柔軟な見守り体制の充実

	会計	款	佰	目	事 業 コード	予算事業名	H30年度		H31年度	
	五山	孙	炽	П	コード	17 并 带 木	当初予算額	決算額	当初予算額	
1	01	15	10	20	0605100	青少年問題協議会運営費	506, 000	400, 548	514, 000	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
						合 計	506, 000	400, 548	514, 000	

記載年月 令和元年8月 対 象 年 度 平成30年度

1	事務事業	の	既要									
事	務事業	名	青少年健全育成事業									
概		要	青少年健全育成の環境づくり	青少年健全育成の環境づくり								
4//	基本施	策	8 青少年の健全育成	子ども家庭部 児童青少年課								
総 : 計 i	一施	策	55 青少年の健全育成	事業類型	任意事業							
н	事業種	別	主要な事務事業 事業開始年度 ~	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり							
根	拠法令	等										
市	関連事	業										
対		象	市内在住・在学の概ね18歳までの青少年									
実	施の背	景	地域や学校などと連携し、青少年の健全育成のための交流を図	るための事業として実	尾施してきた。							
事	業目	標	青少年が健全に育成される望ましい社会の環境整備を図る。									
事	業内	容	マ青少年対策地区委員会や学校関係機関と連携し、各地域での環境浄化活動や育成事業等の実施 ▽地域と連携し、緊急避難の家や青少年健全育成協力店指定制度の実施 ▽市内の学校が参加する青少年健全育成交流事業や「標語コンクール」の実施 ▽毎月第4土曜日を「家庭の日」と定め、親子の絆を深めるための体験型の講座として家庭の日事業の実施									
2	事業計画	j • į	平価 <u></u>									
H2	9年度実績	[([H294	F度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続							
			委員会事業 参加人数 23,607人 ▽青	少年対策地区委員会と	の協働により、様々な事業を実施することがで							

実施の背景 地域や学校などと連携し、青少年の健全育成のための交	地域や学校などと連携し、青少年の健全育成のための交流を図るための事業として実施してきた。							
事 業 目 標 青少年が健全に育成される望ましい社会の環境整備を図	る。							
事 業 内 容 事 業 内 容 事 業 内 容 ▼青少年対策地区委員会や学校関係機関と連携し、各地域での環境浄化活動や育成事業等の実施 ▽地域と連携し、緊急避難の家や青少年健全育成協力店指定制度の実施 ▽市内の学校が参加する青少年健全育成交流事業や「標語コンクール」の実施 ▽毎月第4土曜日を「家庭の日」と定め、親子の絆を深めるための体験型の講座として家庭の日事業の実施								
2 事業計画・評価								
H29年度実績 (Do)	H29年度評価(Check) 評価内容 B 現状のまま継続							
▽青少年対策地区委員会事業 参加人数 23,607人 ▽健全育成標語コンクール 応募 6,862件 ▽家庭の日事業 参加人数 106人 ▽けやきち通信 1 回発行 ▽協力店 154店舗、子ども緊急避難の家 1,796件 ▽バレーボールのつどい 参加人数 410人 ▽綱引きのつどい 参加人数 826人	▽青少年対策地区委員会との協働により、様々な事業を実施することができた。 ▽市内の販売店などに青少年健全育成協力店に参加してもらうことにより、子どもを取り巻く健全な環境作りに取り組んだ。 ▽地域性を活かした各種イベントにより子どもと大人の顔の見える交流ができた。							
新規・レベルアップ 🗸 継続 📗 見直	IU							
H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)							
▽青少年対策地区委員会の活動補助 ▽健全育成標語コンクールの実施 ▽家庭の日事業の実施 ▽けやきち通信発行など広報啓発活動 ▽健全育成協力店や子ども緊急避難の家の促進 ▽青少年健全育成交流事業の実施 「バレーボールのつどい」	▽青少年健全育成基本方針に基づき、青少年対策地区委員会をはじめとして、地域や学校等関係機関と連携しながら、青少年が元気で健やかに成長できるよう積極的に事業を展開する。							
H30年度実績(Do)	H30年度評価 (Check) 評価内容 B 現状のまま継続							
▽青少年対策地区委員会事業 参加人数 23,578人 ▽健全育成標語コンクール 応募 5,754件 ▽家庭の日事業 参加人数 135人 ▽けやきち通信 1回発行 ▽協力店 147店舗、子ども緊急避難の家 1,754件 ▽以レーボールのつどい 参加人数 353人	▽青少年対策地区委員会との協働により、様々な事業を実施することができた。 ▽市内の販売店などに青少年健全育成協力店に参加してもらうことにより、子どもを取り巻く健全な環境作りに取り組んだ。 ▽地域性を活かした各種イベントにより子どもと大人の顔の見える交流ができた。							
新規・レベルアップ ☑ 継続 □ 見直	IU ■ 廃止 H30年度評価に基づく見直し (Action)							
H31年度の具体的な取組 (Plan)	H31年度の方向性 (Plan)							
▽青少年対策地区委員会事業の委託 ▽健全育成標語コンクールの実施 ▽家庭の日事業の実施 ▽けやきち通信発行など広報啓発活動 ▽健全育成協力店や子ども緊急避難の家の促進 ▽青少年健全育成交流事業の実施 「綱引きのつどい」	▽市が定める青少年健全育成基本方針に基づき、家庭・学校・地域と連携しながら、青少年が元気で健やかに成長できるよう積極的に事業を展開する。 ▽青少年対策地区委員会事業については、青少年を取り巻く環境の変化に柔軟に対応するため、SNS等の適切な使用方法や見守り活動に係る事業を強化するとともに、基本方針に則り推し進める必要があることから、一部の事業を除き、委託事業として実施する。							
令和 2年度における事業の位置付け								
A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続 1 大幅な見直しは必要ない 2 見直しには法令等の改正が必須 3 見直しの必要性はあるが時期尚早	家庭・学校・地域が連携し、環境浄化活動や非行防止活動、 育成事業などを行うことで、本市の青少年健全育成に寄与す ることから、現状のまま継続する。							

令和 2年度における事業の位置付け									
A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない 2 見直しには法令等の改正が必須 3 見直しの必要性はあるが時期尚早	В	家庭・学校・地域が連携し、環境浄化活動や非行防止活動、 育成事業などを行うことで、本市の青少年健全育成に寄与す ることから、現状のまま継続する。						
C 見直して継続	4 現状では見直しが不可能 1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合								
D 休止・廃止等	1 休止 2 廃止 3 完了	1							

指標名	基準値			事業推移			目標値・	指標の分析	
11保石	(単位)		H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	目標年度	担保の力力	
		計当初値画	154	156	158	160	160	店舗の閉鎖等により微減している。	
青少年健全育成協力店の拡 充	153	値補正値	147	_	-	_	令和 3年度		
	店舗	実 績	-	ı	ı	1	-		
		計 当初値	-	-	-	-	-		
	=	値補正値	-	1	ı	ı	ı		
	-	実 績	_	-	-	_	_		

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1		
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	地域に根ざした青少年健全育成事業であるため。				
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2	
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2	
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3	
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3	
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2	

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	7. 八门员守00	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事	業費)						
	当 初 予 算 額	7, 565, 000	7, 210, 000	8, 421, 000	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	0	125, 000	125, 000	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	18,000	13,000	12,000	0	0	0
	一般財源	7, 547, 000	7, 072, 000	8, 284, 000	0	0	0
	予 算 現 額	7, 489, 000	7, 210, 000	0	0	0	0
	決 算 額	7, 307, 995	6, 824, 668	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都 支 出 金	260, 000	114, 000	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	12, 900	14, 400	0	0	0	0
	一般財源	7, 035, 095	6, 696, 268	0	0	0	0
	執 行 率	97.6%	94. 7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人化	件費)						
	職員数	1. 57	1.65				
	職員人件費	12, 060, 150	12, 965, 855				
_	嘱託員数	0	0				
	嘱託員人件費	0	0				
(間打	接経費)						
	間 接 経 費	19, 975	22, 308				
	総コスト	19, 388, 120	19, 812, 831	0	0	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果

- ▽地域や学校等関係機関と連携し、青少年の健全育成を図っていくための事業を実施した。 ▽緊急避難の家や健全育成協力店事業をはじめ、各種啓発事業を地域と連携し実施した。 ▽各地域での交流事業や市主催の「バレーボールのつどい」「綱引きのつどい」「標語コンクール」を実施した。 ▽毎月第4土曜日を「家庭の日」と定め、親子のふれあいを大切にする家庭の日事業を実施した。

今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

▽青少年を取り巻く環境は、核家族や共働き家庭の増加、非行の低年齢化、スマートフォン等の新たな機器の普及による有害情報の氾濫など年々変化しており、関係機関と連携強化し、効果的な対策を行う。 ▽青少年が健全に育成される社会環境を整備するため、家庭・学校・警察・地域が連携し、子どもたちの育成活動や環境浄化活動などを実施する。

	A ⇒⊥				事業	マ質古衆々	H30年度		H31年度
	会計	款	項	目	事 業コード	予算事業名 	当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	15	10	20	0607000	青少年健全育成事業費	2, 408, 000	2, 184, 048	8, 216, 000
2	01	15	10	20	0619000	補助金 青少年対策地区活動推進費	4, 802, 000	4, 640, 620	205, 000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						슴 計	7, 210, 000	6, 824, 668	8, 421, 000

記載年月 令和元年8月 対象年度 平成30年度

1 事務事業の概要												
事務事業名	学童クラブ管理運営事業			事 務 事 業コ ー ド	30551100							
概 要	保護者が労働などの事情で昼間家庭にいない児童の健全	育成を図る。										
基本施策 総合 佐 安	8 青少年の健全育成	主管部	3課名 子ども家庭	医部 児童青少年課								
計画施策	55 青少年の健全育成	事業	類型 法定事業	法定事業								
事業種別	その他の事務事業 事業開始年度 平成 2年度	~ 見直し	の裁量 市に事業身	市に事業見直しの裁量あり								
根拠法令等	見童福祉法、子ども・子育て支援法、府中市立学童クラブ条例											
市関連事業	t課後子ども教室事業											
対 象	市内に住む小学生											
実施の背景	x性の社会進出に伴う共働き家庭の増加と核家族化の進行により、放課後に帰宅しても保護者がいない留守家庭児童が増えたため											
事業目標	放課後子ども教室事業と連携し、希望する全ての児童に	安心安全な放課後の	の居場所を提供する									
事 業 内 容 児童福祉法に規定された放課後児童健全育成事業。子ども・子育て支援法には、地域子育て支援事業として子ども・子育て支援計画に従い、市町村が実施することとされた。 【事業内容】放課後帰宅しても保護者の就労等で、適切な監護が受けられない小学生の健全育成を図る目的で集団育成する事業。												
2 事業計画・												
H29年度実績(I		H29年度評価(0		P容 B 現状のまま								
▽放課後子ども教	室と連携し、イベントなどを合同で実施した。	検討会にて意見聴 ▽育成面積の確係	(室との一体的な運営 取した。 などハード的な課題・ る課題の解消に努め	の解消に向けた準備								
₹	- □ 新規・レベルアップ ☑ 継続 □ 見直	[し	H29年度評価	Tに基づく見直し	(Action)							
H30年度の具体	的な取組(Plan)	H30年度の方向	生(Plan)									
審議会に放課後対	室と学童クラブの一体的運営について、子ども・子育て 策部会を設置し検討する。 などハード的な課題と指導員の適切な人数の配置などソ消に努める。	▽放課後子ども参 ▽児童の育成に関	(室との一体的な運営 する課題の解消に努	について、検討を進 める。	さめる 。							
 H30年度実績(I	n_\	H30年度評価 (0	はなると 証価は	7容 B 現状のまま	袱							
0	室と連携し、避難訓練やイベントなどを合同で実施した なクラブ分館の設置に着手し、育成面積の確保などハード 努めた。		「審議会に放課後対策 後の安定的な運営に向									
$\overline{\nabla}$	計規・レベルアップ対 継続見直	[し □ 廃止	H30年度評価	5に基づく見直し	(Action)							
H31年度の具体	的な取組(Plan)	H31年度の方向	生 (Plan)									
た取組を検討する ▽引き続き、育成	審議会からの答申に基づき、事業の安定的な運営に向け 。 面積の確保などハード的な課題と指導員の適切な人数の な課題の解消に努める。	を行い、今後の力	運営に向け、運営方 向性を決定する。 ける課題の解消に努		的な取組の検討							
令和 2年度にお	Sける事業の位置付け											
A 重点化・拡大	てして継続	事業	の安定的な運営の実	現を目指し、運営力	法を抜本的に見							
B 現状のまま維	2 見直しには法令等の改正が必須 3 見直しの必要性はあるが時期尚早 4 現状では見直しが不可能	B 直对	-など、今後の方向性	を決定するための検	討を行う。							
C 見直して継続 D 休止・廃止等	2 他事業との整理・統合	2										
レ かれ・廃れる	1 Num											

休止 2 廃止 3 完了

指標名	基準値		事業推移					指標の分析	
担保石	(単位)		H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	目標年度	担保の力切	
		計当初値画	0	0	0	0	0	1~3年生は全員入会。4~6年 生の待機児童は19人。	
待機児童数	6	値補正値	_	_	-	-	令和 3年度		
	人	実 績	19	1	ı	ı	ı		
		当初値画	-	-	-	-	-		
	=	値補正値	-	1	١	1	ı		
	_	実 績	_	-	-	_	_		

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1	
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	児童福祉法、子ども・- いる事業であるため	子育て支援法により市町	村が行うものと規定され	て
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	H29年度 H30年度 H31年度 R 2年度 R 3年度								
/击*	华 # \	1125千戊	1100千皮	1101千尺	1、2千及	11 0千皮	R 4年度		
	業費)								
	当初予算額	292, 923, 000	331, 273, 000	370, 844, 000	0	0	0		
	国庫支出金	32, 262, 000	37, 792, 000	39, 250, 000	0	0	0		
	都 支 出 金	52, 512, 000	59, 592, 000	58, 624, 000	0	0	0		
	市債	0	0	0	0	0	0		
	その他	131, 394, 000	159, 382, 000	166, 538, 000	0	0	0		
	一般財源	76, 755, 000	74, 507, 000	106, 432, 000	0	0	0		
	予算現額	294, 025, 000	331, 273, 000	0	0	0	0		
	決 算 額	293, 922, 274	307, 937, 197	0	0	0	0		
	国庫支出金	34, 041, 000	37, 627, 000	0	0	0	0		
	都 支 出 金	54, 463, 000	58, 993, 000	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0	0	0		
	その他	137, 910, 700	141, 361, 000	0	0	0	0		
	一般財源	67, 507, 574	69, 956, 197	0	0	0	0		
	執 行 率	100.0%	93.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
(人作	件費)								
	職員数	10.51	13. 10						
	職員人件費	80, 733, 868	102, 941, 031						
	嘱 託 員 数	48	45						
	嘱託員人件費	149, 779, 200	140, 664, 870						
(間括	接経費)								
	間接経費	744, 451	785, 547						
	総コスト	525, 179, 793	552, 328, 645	0	0	0	0		

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果

本市では昭和41年に第六小学校の敷地内に最初の学童クラブを設置し、以降昭和53年までの間に、文化センター内に児童館併設の学童クラブ8館を設置した。一方、社会福祉協議会に運営委託した共同学童クラブが市内8か所にあったため、昭和62年に出された「学童クラブ事業の見直し」の提言を受けて、市内22の小学校の敷地内及び隣接地に各1つの学童クラブを新設する方針が決定し、現在の形態となった。平成20年度からは22の学童クラブを7つのブロックに編成し、学童クラブ間の連携を密にすると共に事業運営の効率化を図り、定員を設けず入会を希望する全ての児童の受入れを行っている。平成27年4月に子ども子育て支援新制度の対応として学童クラブの設備及び運営に関する基準条例が施行されると共に、対象児童が小学校6年代までよります。

生までとなった

今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

▽放課後子ども教室との連携を含めた4~6年生の受け皿の確保と、ニーズ量に応じた施設の確保を図る必要がある。 ▽事業の安定的な運営に向けた運営方法の見直しに着手する。

6 構成事業一覧

(単位:円)

6	構成-	尹禾	一見						(単位:円)
	会計	款	項	目	事 業 コード	予算事業名	H30: 当初予算額	年度 決算額	H31年度 当初予算額
1	01	15	10	20	0612000	学童クラブ運営費	194, 053, 000	185, 322, 341	200, 817, 000
2	01	15	10	20	0613000	学童クラブ間食費	41, 710, 000	41, 886, 436	41, 775, 000
3	01	15	10	20	0615000	学童クラブ管理費 管理委託料	11, 799, 000	11, 707, 416	18, 059, 000
4	01	15	10	20	0616000	学童クラブ管理費 光熱水費及び燃料費	9, 085, 000	10, 042, 194	10, 759, 000
5	01	15	10	20	0617000	学童クラブ管理費 諸経費	30, 419, 000	26, 715, 884	26, 925, 000
6	01	15	10	20	0617001	学童クラブ管理費 諸経費(債務負担行為解消分)	953, 000	952, 560	29, 869, 000
7	01	15	10	20	0622300	学童クラブ整備事業費 調査委託料	410, 000	397, 440	1, 140, 000
8	01	15	10	20	0623800	学童クラブ整備事業費 外壁等改修工事費	31, 844, 000	30, 672, 000	41, 500, 000
9	01	15	10	20	0633010	学童クラブ整備事業費 測量委託料	2, 000, 000	240, 926	
10	01	15	10	20	0633020	学童クラブ整備事業費 埋蔵文化財発掘調査委託料	9, 000, 000	0	
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	331, 273, 000	307, 937, 197	370, 844, 000

記載年月 令和元年8月 対 象 年 度 平成30年度

1 事務事業の	概要							
事務事業名	青少年総合相談運営事業	事務事業 コード 30551200						
概 要	子ども・若者育成支援に関する相談							
从	8 青少年の健全育成	主管部課名	子ども家庭部 児童青少年課					
総合施策	55 青少年の健全育成	事業類型	任意事業					
事業種別	主要な事務事業 事業開始年度 平成23年度 ~	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり					
根拠法令等	子ども・若者育成支援推進法(平成21年7月)							
市関連事業								
対 象	ひきこもり・ニート・人間関係・仕事のことなどの悩みを抱える	る若者本人やその保護	複者					
実施の背景	子ども・若者をめぐる環境が悪化しており、次世代を担う子どでる。	ら・若者が社会生活を	と円滑に営むことができることが求められてい					
事業目標	総合的な子ども・若者育成支援を行い、子ども・若者が社会生活	舌を円滑に営むことが	ぶできるように支援する。					
事業内容	▽子ども・若者総合相談を実施し、相談者に対し関係機関の紹介その他の必要な情報の提供及び助言を行う。 ▽ひきこもりやニート等の状態にある子ども・若者又はその家族に対する支援を行う。							
2 事業計画・								
H29年度実績(Do) H29年	度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続					

事 業 内 容 ▽子ども・若者総合相談を実施し、相談者に対し関係機 ▽ひきこもりやニート等の状態にある子ども・若者又は	関の紹介その他の必要な情報の提供及び助言を行う。 その家族に対する支援を行う。
2 事業計画・評価	
H29年度実績(Do)	H29年度評価 (Check) 評価内容 B 現状のまま継続
▽子ども・若者総合相談 ・青少年や子育てについての相談 30件(延べ33件) 電話相談 29件(延べ32件) 面接相談 1件(延べ1件) ・ひきこもりに関する相談 38件(延べ75件) メール相談 3件(延べ3件) 面接相談 35件(延べ72件)	▽月3回の面接相談・メール相談を引き続き実施し、新規の相談者数も増え、件数が大幅に増加した。 ▽チラシの作成・ホームページへの掲載・メール配信を利用した相談事業の周知を行った。
新規・レベルアップ ☑ 継続 □ 見直	[し □ 廃止 H29年度評価に基づく見直し (Action)
H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性(Plan)
▽子ども・若者総合相談 面接相談(月4回)、電話相談(随時受付) ▽子ども・若者支援地域協議会の設置に向けた準備	▽子ども・若者総合相談については、チラシやホームページを活用した広報活動を行い、新規相談件数を増やすとともに、継続者については次のステップアップにつなげるため、適切な支援機関を紹介する。 ▽若者の自立等支援に係わる効果的な施策を検討する。
H30年度実績(Do)	H30年度評価(Check) 評価内容 B 現状のまま継続
▽子ども・若者総合相談 ・青少年や子育てについての相談 7件(延べ16件) 電話相談 1件(延べ2件) 面接相談 6件(延べ14件) ・ひきこもりに関する相談 18件(延べ74件) 電話相談 3件(延べ3件) 面接相談 15件(延べ71件) ・保護者向けセミナー 2回	▽子ども・若者総合相談を実施することで、子ども・若者自身や保護者からの相談に専門的かつ継続的に応じ、若者の自立等支援に繋げることができた。 ▽チラシの作成・ホームページへの掲載・メール配信を利用した相談事業の周知を行った。
新規・レベルアップ 🗸 継続 🗌 見直	[し 原止 H30年度評価に基づく見直し (Action)
H31年度の具体的な取組 (Plan)	H31年度の方向性 (Plan)
▽子ども・若者総合相談 ・電話及び面接相談(月4回) ・保護者向けセミナー(月1回)	▽子ども・若者総合相談については、チラシやホームページを活用した広報活動や、子どもの自立に悩む家族向けのセミナーを行い、新規相談件数を増やすとともに、継続者については次のステップアップにつなげるため、適切な支援機関を紹介する。 ▽若者の自立等支援に係わる効果的な施策を検討する。
令和 2年度における事業の位置付け	
A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続 1 大幅な見直しは必要ない 2 見直しには法令等の改正が必須 3 見直しの必要性はあるが時期尚早 4 現状では見直しが不可能	相談窓口の周知とともに、社会生活を円滑に営むうえで困難を有する若者やその家族が利用しやすい環境づくりを行う。また、中高年のひきこもりが社会問題化するなか、ひきこもり状態の長期化・高齢化への対応として、関係部署と協議・調整を図る。
C 見直して継続 1 見直し・縮小	

1

2 他事業との整理・統合

1 休止 2 廃止 3 完了

D 休止・廃止等

指標名	基準値			事業推移			目標值·	指標の分析	
拍标石	(単位)		H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	目標年度	1日1示 () 7月 1月	
		計 当初値	ı	ı	ı	ı	ı	数値の比較や推移で評価すること がなじまないため、特に指標の設 定は行わない。	
	-	値補正値	-	-	-	-	-		
	-	実 績	ı	1	ı	ı	ı		
		計 当初値	-	-	-	-	-		
	_	値補正値	ı	1	١	1	1		
	_	実績	_		-	_	_	++ (\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	

※ 当初値:指標設定当初の計画値、補正値:現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現 状 分 析	3	2	1	
	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施するべき事業である。	子ども・若者育成支援	推進法により市の責務が	定められている	
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類以事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

事業費・人件費等の推移(単位:円、人)								
	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度		
事業費)								
当初予算額	3, 038, 000	3,001,000	3, 015, 000	0	0	0		
国康专业全	0	0	0	0	0	0		

3, 038, 000	3, 001, 000	3, 015, 000	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
3, 038, 000	3, 001, 000	3, 015, 000	0	0	0		
3, 065, 000	3, 001, 000	0	0	0	0		
3, 056, 832	2, 995, 955	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
3, 056, 832	2, 995, 955	0	0	0	0		
99. 7%	99.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
(人件費)							
0.67	0.80						
5, 146, 688	6, 286, 475						
0	0						
0	0						
(間接経費)							
8, 524	10, 816						
8, 212, 044	9, 293, 246	0	0	0	0		
	0 0 0 3, 038, 000 3, 065, 000 3, 056, 832 0 0 0 3, 056, 832 99. 7% 0. 67 5, 146, 688 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 3,038,000 3,001,000 3,056,832 2,995,955 0 0 0 0 0 0 0 0 3,056,832 2,995,955 99.7% 99.8% 0 0 0 0 5,146,688 6,286,475 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 3,038,000 3,001,000 3,015,000 3,056,832 2,995,955 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 3,056,832 2,995,955 0 99.7% 99.8% 0.0% 0 0 0 0 0 0 5,146,688 6,286,475 0 0 0 0 0 0 8,524 10,816	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 3,038,000 3,001,000 3,015,000 0 3,065,000 3,001,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 3,038,000 3,001,000 0 0 0 3,056,000 3,001,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 3,056,832 2,995,955 0 0 0 0 0 0 0 0 99.7% 99.8% 0.0% 0.0% 0.0% 5,146,688 6,286,475 0 0 0 0 0 0 0 0 0 <t< th=""></t<>		

これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果

- ▽専門の相談員が関係機関と連携を図りながら、青少年に関する悩み事に対して、電話及び面接により指導 ▽庁内関係課連絡会を実施し、専門のノウハウを持つNPO法人の講演を聴いたり情報の共有をした。 ▽平成24年度よりひきこもり等の自立支援のための講演会を実施してきたが、多くの参加があった。 ▽平成24年度よりセミナーや個別の相談会を実施した。 ▽正れまでの青少年の総合相談を拡充し、ひきこもりやニートといった専門の支援を必要とした相談にも対応できる「子ども・若者総合相談」を開設した。 設した。

今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)

▽ひきこもりやニートに関する相談を含め、子ども・若者が抱える悩みについて様々な相談に引き続き応じるとともに、適切な関係機関を紹介する

- 。 ▽東京都や近隣市の動向を踏まえた若者自立等支援体制整備の検討 ▽子ども・若者支援地域協議会の設置に向けた準備

	会計款項			事 業 コード	マ質古垩々	H30年度		H31年度	
	会計 款 項 目 ⇒	コード	予算事業名	当初予算額	決算額	当初予算額			
1	01	15	10	20	0609000	青少年総合相談運営費	3, 001, 000	2, 995, 955	3, 015, 000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
						合 計	3, 001, 000	2, 995, 955	3, 015, 000